

訃 報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。(2020年4月20日までにご連絡をいただいた方々)

回生	氏 名	死亡年月日	回生	氏 名	死亡年月日	回生	氏 名	死亡年月日	回生	氏 名	死亡年月日
35	浜 泰年	2019/12/10	47	有賀 秀雄	2019/4/13	52	望月 憲一郎	2019/5/22	61	渡辺 博美	2018/7/26
36	池田 賢治	2019/3/22	47	伊東敬一郎	2015//	52	両角 士朗	2018/1/15	62	石井 直憲	2004/9/19
36	池田 勉	2012/1/	47	小松 一人	2019/10/24	56	浅川 智朗	2018//	62	酒井 宣明	2019/5/22
36	大泉 門弟	不明	47	小松 一善	2019/5/12	56	池上 忠男	2018/12/6	62	瀧澤 盛夫	2018/9/16
37	土橋 秀孝	2009/1/	47	高見 勝補	2017/8/9	56	遠藤 徹	2019/7/6	62	山田 富幹	2019/10/12
39	栗林 松治	2019/12/24	47	宮坂 正昭	2018/9/17	56	遠藤 福将	2020/3/20	63	伊藤 敏夫	2019/9/3
39	小平 邦紀	2019/4/22	48	岩波 岩治	2019/12/29	56	浜沢 広	2004/10/20	63	伊藤 喜夫	2019/3/4
39	吉澤 千明	2019/5/5	48	牛山孝二郎	2018/5/16	56	高野 幸	2019/4/1	63	藤森 賢一	2019/7/16
40	小尾 洋介	2018/6/23	48	北原 治房	2017/7/14	56	細田 悦雄	2020/1/8	64	伊藤 文政	2019/3/
40	高木 重徳	2018/2/28	48	長田 真	2019/12/8	56	戸田 哲夫	2019/1/29	64	小池昭二郎	2019/6/28
40	樋口 忠文	2018/12/7	48	宮澤 弘	2018/6/25	57	小口 敦巳	2019/10/6	64	五味 淳吾	2019/8/24
41	小林 修	2015/4/19	48	守屋 一衛	2019/12/28	57	武井 榮一	2019/12/10	65	牛尼 泰起	2019/11/21
41	小松 三郎	2016/3/21	49	牛山淳一郎	2018/5/	57	立石 千秋	2018/11/22	65	丸山 敏弘	2020/3/22
41	那須野博人	2014/4/25	49	片瀬 豊	2018/8/8	57	宮阪 章三	2019/1/28	65	守矢 健生	2019/12/1
41	保坂 健	2018/12/25	49	久保田 貢	2019/3/30	58	伊藤仁四良	2017/8/17	65	柳平 博道	2018/8/15
43	味澤 喜三	2019/6/6	49	小平 謙	2020/3/8	58	片山 宏海	2019/11/6	66	田畑 敏明	2020/2/16
43	松本 文彦	不明	49	中島 雅雄	2019/5/7	58	千代 務	2018/11/13	67	笠原 利英	2020/1/27
43	岩崎 宏	2018/6/4	49	堀内 洋志	2016/5/12	58	今井 稔子	2019/9/5	68	今井長八郎	2017/1/31
43	牛山 定雄	2019/4/17	49	宮坂 敏彦	2018/2/	58	新村 義郎	2016/9/6	68	増沢 弘子	2019/5/2
43	小松 莊亮	2017/3/	50	小口 順吉	2018/2/28	58	齋藤 寛	2019/8/14	70	牛山 保	2018/12/18
43	名取 剛三	2019/4/24	50	小林 速巳	2016/3/26	58	藤森 章	2019/7/24	71	宮坂 巖	2020/1/1
43	藤森 仁	2018/5/6	50	小林 正顕	2018/12/2	58	平谷 春次	2017/11/27	72	宮坂 幸男	2019/6/11
44	五味 甫	2016/8/20	50	翠川 宏	2020/2/2	59	修造	2017/10/21	73	平泉 永幸	2019/2/18
44	関 一博	2017/1/20	50	吉田 守	2020/4/8	59	伊藤 毅	2018/12/31	73	平林 清華	2019/8/4
44	高波 勝郎	2016/5/10	50	和田 修一	2019/4/2	59	牛山 孝	2020/1/31	73	晝間 清文	2019/11/9
44	丸山 数馬	2019/3/	51	小川弥太郎	2018/5/23	59	猿谷 賀一	2020/2/2	74	有賀 善久	2019/5/7
45	今井 玉寿	2019/7/3	51	細川 博道	2016/8/25	59	島田 泉	2018/7/6	74	松縄 茂	2019/9/11
45	岩波 一寛	2019/12/2	51	小林 信一	2018/7/2	59	武井 久良	2017/11/	75	栗林 利治	2020/2/12
45	松岡 武文	2018/10/17	51	佐藤 光義	2017/11/6	59	濱 實	2018/4/19	77	功力 望	2019/6/16
45	小口 治俊	2018/9/23	51	宮坂 祐次	2019/10/12	59	藤森 伊清	2019/9/9	78	矢崎 彰一	2020/3/2
45	小平 恭	2020/2/8	51	和田 則彦	2018/7/26	59	藤森 照夫	2019/8/5	81	遠藤 和明	2020/1/5
45	藤森喜久雄	2017/6/30	52	金井 道彦	2019/5/12	61	石田 友美	2018/11/12	83	北原 信彦	2019/5/14
46	牛山 国喜	2019/12/	52	北沢 俊之	2018/6/16	61	笠原 修	2019/7/15	83	名取 明生	2018/10/8
46	小川 善弘	2019/9/10	52	里見 厚	2018/12/2	61	後藤 泰久	2019/2/8	84	藤森 義行	2020/1/23
46	小口 祐利	2017/1/21	52	高木 正幸	2019/8/6	61	進藤 彰夫	2020/3/4	89	小笠原 寿	2019/4/12
46	北澤 興司	2019/5/21	52	立木 省治	2019/11/27	61	高橋 道郎	2019/3/15	95	佐藤 歩	2017/2/3
46	五味 昭二	2018/6/18	52	藤森 勝三	2017/10/12	61	久保田 宏	2018/2/11	120	五味 拓実	2019/5/4
46	藤原 廣邦	2018/12/24	52	藤森 昇	2019/10/10	61	山崎 善郎	2019/7/27			

事 務 局 だ よ り

◎新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、同窓会総会・支部総会・幹事会等の会合が、延期や中止となって同窓会活動に多大な影響を及ぼしております。会合を持つ場合には、三密「密閉・密集・密接」を避けながら、同窓会活動を電話やネットを最大限活用して頂きたいと思ひます。

◎同窓会のホームページを17年振りにリニューアルし、新型コロナウイルス感染拡大に対応し、年一回更新方式から、随時更新方式に切り替えたいと思ひます。従ひまして、同窓会総会・常任幹事会・幹事会や支部総会・同年会などの会合のお知らせを随時更新し、便宜を図れるよう改善して行きたいと思ひます。

◎2017年から準備を進め、2018年の定期総会にて承認された女性部は、役員の方々が全国各支部を積極的に回り、趣旨説明や活動報告を行い、各支部で核となる役員や連絡網の拡充などを

編 集 後 記

まずは、広告主の皆様、趣旨をくみ取って寄稿していただいた皆様、取材にご協力いただいた皆様、清陵高校の皆様、そして同窓会の皆様に御礼申し上げます。

今年この会報作成の中で、清陵高校における変化の現在進行形に触れました。また、将来を見据えて生徒が自律的に行動していることが卒業生インタビューを通じてわかり、とても頼もしくも感じています。

しかしその一方で少子化の波や、都会と地方の二極分化が進んでいるといった環境変化もあり、これが清陵高校のみならず県、ひいては国全体の教育現場にどんな形で影響してくるか、気にな

行なっております。女性同窓会員の皆様方の積極的なご参加をお願いします。

◎毎年10月下旬に母校の「諏訪湖一周マラソン大会」が行われて、多くのOBの方々が参加されております。これから数年の間「諏訪湖サービスエリア」に「諏訪湖スマートインターチェンジ」を設置する工事が予定されており、近辺道路工事が行われ「うしまさ坂の碑」でのレモン配りについては「うしまさ坂保存会」と協力して臨機応変に行きたいと思っております。

◎事務局

TEL/FAX：0266-58-0356

E-mail：dousoukai@suwaseiryoyo.jp

ホームページ：http://www.suwaseiryoyo.jp/

事務局長：矢澤博（69回）月・木（10：00-16：00）原則勤務
携帯電話：090-3312-1469

るところであります。その昔哲学者が、今合理的と思われる仕組みや方法も、環境変化等によって対立や矛盾が発生し、やがてそこから問題を解決する新たな仕組み、方法が生み出され、ステップアップするという論理を唱えたこと思い出します。環境変化は必然的に起こります、今のまま安泰というわけにはいかないでしょう。これから清陵高校と清陵生が、環境変化を見据えてさらにどんな飛躍をしていくかを期待しながら、同窓生が“縁の下の力持ち”になっていかれればと思っております。

(会報編集担当：87回生

矢崎晴俊、小池高志、松澤明、平沢晴信、矢島仁視、味澤敏行)



第 46 号 発行：諏訪清陵高校同窓会 発行人：同窓会長 中村 博 編集担当：第 87 回生（昭和 56 年入学）
同窓会事務局：〒 392-8548 長野県諏訪市清水 1-10-1 TEL：0266-58-0356



～次なるハードルに
向かって確かな歩みを～

同窓会長 中村 博 (72 回生)

会員の皆様方には、日頃から母校の発展に対しまして、深いご理解とご支援をいただいておりますことを厚く御礼申し上げます。

今年は、年初からコロナウィルスの感染拡大により、母校そして同窓会の行事も変則な対応を余儀なくされましたが、そのような中、満たされないものを感じながらも卒業生は元気に巣立っていったと聞いております。

清陵の中高一貫教育も丸6年が過ぎ、今年最初の学年が次のステップに向けてそれぞれがチャレンジしていきました。大学進学状況は、一つのメルクマールに過ぎませんが、一つの真価を問われるステージに入ったことも事実です。

この最初のハードルは、期待水準に応えられ、力強く乗り越えられたのではないのでしょうか。人生には幾多のハードルが待ち受けておりますが、是非次のハードルに向かって確かな歩を進められることを願っております。

今回のコロナショックは、価値観の多様化が求められる時代にあって、効率化一辺倒、生産性の向上に偏重した価

値観への警鐘ではないかと受け止めております。グローバル化の世界の負の側面を顕在化させてしまったように思われます。

生産性を示す代表的な指標である GDP（国内総生産）の成長が多くの国、国民にとって必ずしも幸せをもたらすものではありません。改めて価値観の多様化の重要性を再認識させられたのではないのでしょうか。

第二次大戦後長く続いた多くの平均的な人間が、平均的な幸せ（一つの価値観で幸せ）を享受できる時代は終わってしまったと考えております。幸福度を示す指標は千差万別です。

清陵生には、それぞれの価値観に基づき、グローバル化そしてローカリゼーションそれぞれの世界で、次なる新しい時代を切り開いていける人材に育てていただきたいと願っております。

同窓会としても引続き物心両面で、生徒達の学習活動を支援して参りたいと考えております。

同窓会の活動も時代の変化に対応して変わっていかなくては、その存在意義が問われてしまいます。幸い関係者のご努力により、清陵女子の同窓会への参加者数が増えています。更なる清陵女子そして若い人達の同窓会活動への参加を期待しております。

会員の皆様方には今後も引続き同窓会の活動につきまして、ご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、益々のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。

2020 年度 定期総会延期のお知らせ

諏訪清陵高等学校同窓会総会を、2020年6月27日（土）に、「ホテル紅や」にて開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、総合的に判断し、延期する事と致しました。

当番幹事の 87 回生・サブ幹事の 88 回生・97 回生・107 回生の皆様には、大変ご迷惑をお掛けしますが、来年（2021 年）には、同窓会総会が盛大に開催出来る事を祈念致しております。

諏訪清陵高等学校同窓会長 中村 博

同窓会のホームページが新しくなります！

http://www.suwaseiryoyo.jp/

諏訪清陵高校同窓会

検索

定期総会の情報や地区支部の行事日程などを掲載予定です。
ホームページが正常に表示されない時は「https://www.suwaseiryoyo.jp/（5文字目にsを追加）」へアクセスしてください。



ご挨拶

学校長 三枝 是

同窓会長の中村博様はじめ諏訪清陵高等学校同窓会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より母校発展のため物心両面にわたって多大なご支援を賜り厚く御礼申し上げます。私は、第34代校長として、昨年4月より諏訪清陵高等学校ならびに附属中学校の校長を務めさせていただいております。百二十五年の歴史と伝統をベースに、県下に先駆けてのSSH、そして中高一貫教育を力強く推進してきた本校の更なる充実・発展のため、誠に微力ながら、着実に歩みを進めてまいりたいと存じますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、この春は、新型コロナウイルス対応のため臨時休校要請が国より出され、本県もそれに応える形で、本校も3月3日よりそうした状況下にあります。在校生にとっては、新年度準備のために特別に編成された授業を実施したり、学習合宿を行ったりする貴重な機会が失われることになりましたが、こうした時こそ、本校生徒の底力が試されることであり、主体的に家庭学習を進めていると信じています。

そして、日本はもとより世界中が重苦しい空気の中、本校は中高一貫教育校として6年が経過し、附属中1期生を含む生徒諸君の卒業の時を迎えました。彼らは、大学受験に全身全霊で向かっていき、その結果も出ていない不安な気持ちの生徒が多い中、卒業生と教職員のみの卒業式を行いました。卒業生や保護者の皆さんからは、「もしかしたら中止かもしれないと思っていたので、できただけでも嬉しい」という声があり、ほっとした気持ちになりました。

入試結果は、本校としては、久しぶりに東大、京大といった超難関大に現役合格を果たす生徒が出るなど、附属中学校出身の生徒と高校からの入学生が切磋琢磨し、精一杯がんばってくれた成果のひとつがここに表れたと思っています。これに至るまでの生徒の皆さんのたゆまぬ努力と健闘を心より称えたいと思います。また、この結果は、日頃から多大なご支援をいただいております同窓会の皆様のおかげであり重ねて御礼申し上げます。

今年度は、すべてのホームルーム教室でエアコンが稼働します。また、改修の要望が大きかったトイレの全面改修を県のモデル工事として行っていただきました。学習環境の向上が、本校生徒の更なる飛躍につながることを期待しています。

母校の近況をお伝えし、また、同窓生の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げて、ご挨拶いたします。



この仲間とともに。

附属中学校 副校長 赤羽勲夫

清水ヶ丘を渡る風に華やかさと命の煌めきを感じられる季節となりました。希望に満ちた新たな一年の始まりに身の引き締まる思いで日々を重ねております。

この度、小池徳男前副校長の後任として、附属中学校の副校長を拝命いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。保護者の皆様、地域の皆様、とりわけ同窓会の先輩の皆様方には、平素より物心両面から本校を献身的にお支えいただいておりますことに心より御礼申し上げます。

さて、平成から令和へ、Society4.0（情報社会）からSociety5.0（スマート社会）へ、コンテンツ（内容）ベースの学習指導からコンピテンシー（資質・能力）ベースの学習指導へと、社会や子どもを取り巻く状況が大きく転換していこうとする気運に満ちていた矢先、私たちは大きな試験に直面しました。昨年秋の台風による豪雨被害では本県でも大きな被害に見舞われ、個人的なことを申せば、私は初めて避難所開設に立ち合いました。また最初は海外発の小さな外電でしかなかった未知のウイルスは、わずか数か月で世界中を席巻し、この拙稿を書いている今と、それをお読みいただいている時とで、状況が大きく変わっていることも予想されます。

まずもって、生徒の安全確保と学力保障の両面に、全力で努めてまいりますこととお約束申し上げますとともに、皆様方のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

その上で、今般の状況をやや俯瞰して見ますと、これからの社会では、答えのない問いに答えを見出していくことが必要と言われております。その未来像の縮図が今まさに展開されていると思えなくもありません。そして、そのようなときに求められるのが「骨太なリーダー」でありましょう。その育成を本校では大切にしております。着任してまだ日が浅い中ですが、この間、職員室内では、誰も経験したことのない未知の状況にあっても、その場その場で柔軟にアイデアを出し合い、それぞれの役割を越えて協働している教職員の姿があり、心強く思っています。また常に、ねらいや目的に立ち返ろうと話し合っている様子に「本質」を追い求めようとする力強さを感じます。この職員集団で難局を乗り越え、ピンチをチャンスに転換し、生徒とともに確かな一歩一歩を刻んでまいりたいと考えております。また、そうできるものと確信しています。

同窓会の皆様におかれましては、本校の教育活動に対しまして、引き続き暖かなご支援とご指導・ご鞭撻をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

附属中1期生が卒業

特集

清陵は新たなステージへ

令和2年（2020年）年3月5日、本校で卒業式が行われた。本年1月中国に端を発した新型コロナウイルスは日本国内でも急速に感染が広まり、2月28日には安倍晋三首相が全国の小中高に対し「3月2日より春休みに入るまで臨時休校とする」異例の要請を出す事態となる。来賓、保護者および在校生が参加せず、卒業生と教員のみで行われた卒業式では、時間短縮のため校歌を歌わず、代わりに入退場のBGMが校歌となった。式後の談話会が行われなかったため、初めて「卒業生退場」となる。そこには附属中学校から進学した初めての卒業生も含まれた。中高一貫校としてのスタートから6年、附属中1期生が巣立ったこの機会にあらためてここに至るまでの経過を振り返ってみたい。

平成3年（1991年）の同窓会報を開くと長野県下での学力低下問題が取り上げられている。「県内高校生の質的・量的低下に加えて、入試センター試験での平均点の低さ、四年制大学合格者数の減少などが毎日のように報じられている」とある。長野県教育委員会は学力向上推進事業指定校を24校募り、本校も積極的に取り組んだと記されている。

平成7年（1995年）度の入学試験から隣接通学区へのパーセント条項が導入され、12通学区制において隣接する学区の高校へ一定数の生徒が通学できるようになった。また山梨県の北杜市立甲陵高校には特進コースが設置されている。この年の同窓会報には、「進学実績が芳しくなく、上に薄く、下に厚い構造になってきている」と、嘆きとも懸念ともれる言葉が記されている。翌年の会報には「『希望する大学』に『現役合格』が生徒、保護者、教師の共通の願い」とあり、我々87回生の当時とは校内の雰囲気、世間の評価が変わっているのを感じる。

平成10年（1998年）、窪田孝美先生が第26代校長に就任。窪田校長は地域型（過疎地中心）中高一貫校ではなく、併設型（現在の附属中学校、高校と同じ）一貫校を目指して手を

挙げるが、平成13年（2001年）前年に就任した田中康夫知事の方針転換により、長野県教育委員会は中高一貫校設置の課題を棚上げ、本校の中高一貫校の設置構想は頓挫してしまう。一方、文部科学省がスーパーサイエンスハイスクール（SSH）構想を打ち出す。本校も名乗りを上げ、SSHは平成14年（2002年）のスタートと同時に指定を受けた。

平成16年（2004年）の高校入試では前期選抜試験が導入され、本校でも12名の定員に対し志願者129名と大きな反響があった（前期選抜は平成23年（2011年）から停止）。同年（2004年）には県内4通学区制が導入され、隣接通学区への通学が認められたため、地元の中学生にとっては松本地域や山梨県までもが選択肢となる。松本深志高校や甲陵高校へ進学する生徒数が目立ち始め、その後諏訪地域における「人材の流出」が現実的な課題となっていく。

田中康夫知事が退任した平成20年（2008年）、県教育委員長に矢崎和広氏（68回生・元茅野市長）が就くと再び中高一貫校の議論がスタート。翌年（2009年）長野県教育委員会は第1期長野県高等学校再編計画に「東北信と中南信に1校ずつ併設型中高一貫校を設置すること」を盛り込んだ。平成23年（2011年）中南信における中高一貫校設置計画に本校が選定され、平成26年（2014年）4月附属中学校が誕生し、併設型中高一貫校として歩み始めた。

このように長い時間と経過を経て附属中学校は生まれ、そして附属中1期生は清陵高校123回生としてこの春清水ヶ丘を巣立っていった。

※1990年代の動向は主に同窓会報から、2000年以降の動きは石城正志先生（78回生・元校長）からの情報を参考にさせていただきました。

真澄



MASUMI
SUWA 1662

七号酵母へ原点回帰

調和のとれた味わいで食卓に集う人々の心を結びたい

そんな想いで、酒造りの主役である酵母を七号系自社株（1946年に諏訪蔵で発見された親株から選抜を重ねた優良酵母）へ回帰させるプロジェクトを進めています。



七号酵母発祥蔵元

宮坂醸造株式会社

〒392-8686 長野県諏訪市元町1-16
TEL: 0266-52-6161 FAX: 0266-53-4477

真澄ホームページ

清陵は新たなステージへ

2019年度

卒業生インタビュー

清陵高校附属中1期生が高校卒業となった2020年3月。卒業したばかりの生徒5人に集まってもらい、中学のこと、高校のこと、彼らが今思うことを語ってもらいました。

(2020年3月24日 アーク諏訪2F フリースペースにて)

—6年前、「清陵高校附属中学校」の開校はどう受け止めましたか？

小口：地元新しい中学校ができると聞いて興味はありました。「中高一貫」ということで高校受験に向かわなくてよい分、その時間が有意義に使えるかもしれないとも考えました。

河西：自分にとっては地元中学に通う考えはなく、附属中はまったく考えませんでした。小口君は小学校からの友人だったのですが、「附属中に行く」と聞いて、すごいなと思いました。

樋口：富士見では地元意識が強く、生まれ育った周囲の友人たちとともに中学まで進むというのが自然な流れでした。兄の影響もあり、自分でも富士見中に進むことを楽しみにしていました。清陵附属中は「各地からいろんな生徒が集まる」と聞いていましたが、自分一人が地元を離れて別の中学に進むということは考えませんでした。

望月：自宅が中学校にとっても近かったので、「地元中学校でいいかな」と思っていました。周囲に附属中を受検した子たちはいましたが、自分は考えませんでした。

伊藤：中学開校の少し前から家族や友人の中で話題には上っていました。友人の中に「受検する」という子もいて、自分も意識するようになりました。中学からでも高校からでも「清陵高校」には行きたいと思っていたので、まずは中学受験にチャレンジしようと考えました。

—附属中の二人は「高校受験がなかった」メリットを感じていますか？

小口：高校受験を経験していないので、よくわかりません。

伊藤：高校受験に向かっているであろう時期は中学の卒業論文に取り組んでいたのですが、自分が考えたテーマのもと、将来やりたいことをじっくり考えることができました。

—附属中での3年間を今振り返ってみると

小口：中学時代に大学見学（東大、筑波大など）の行事があり、「高校の先」を意識するような取り組みがされていました。

伊藤：附属中で独特だったと思うのは「総合的な学習の時間」。各界で活躍されるOB、OGのお話を聞いたり、企業を訪問させていただく機会は、自分の将来を考えるのに参考になりました。

—高校1年時、附属中からの進学組と地元中からの高校入学組に意識の差はありましたか？

小口：高校のバスケ部は同学年が12人だったのですが、附属中からは自分ひとり、[あちこちの中学から集まった]という雰囲気だったので特に「内部・外部」の意識はありませんでした。

樋口・望月：「誰がどこの中学か」というのは、附属中も含めて意識しなかったと思います。

伊藤：高校1年のはじめは「外進生に負けるわけにはいかない」と緊張感もあったのですが、それはすぐなくなりました。周りを意識するよりも自分のやるべきことをやろうと考えるようになりました。

河西：入学式当日、僕は近くに地元中の友達がいなくて心細かったのですが、附属中のみんなは固まっていた羨ましかったのを覚えています（笑）。

—清陵での3年、あるいは6年



を振り返って思い出されるのは？

小口：高校時代の印象が強いですね。中学時代は「まず勉強」という雰囲気だったのですが、高校では部活も存分に取り組み、本当に楽しい時間を過ごすことができたと思います。

伊藤：私も高校に上がったときに開放感を感じました。附属中が他の中学と比べて特に厳しかったわけではないと思いますが、高校に上がったときは「自由」を感じました。部活も存分にやる、勉強にも取り組むという「文武両道」を肌で感じました。

望月：真っ先に挙がるのは部活（硬式テニス）です。10人の同年メンバーと「必ず県まで行こう」と臨んだ新人戦では南信大会で団体優勝、県大会への出場を果たすことができました。勉強も含めて「やることがいっぱいあった」、密度の濃かった3年間だと思います。

樋口：女子硬式テニス部は10人中、附属中からの部員が3人だったのですが、彼女たちにも刺激を受けました。ついテニスの時間が多くなってしまう中、勉強もしっかり取り組んでいる仲間がいると自分も引っ張られて、受験に取り組んだ結果、納得できる進路につながりました。

河西：3年夏の大会が終わるまで、野球漬けの日々でした。やはりその思い出が大きいですね。

—「清陵の良いところ」を挙げるとしたら？

小口：部活も真剣にやるし、受験期を迎えたら切り替えてそこに向かう、「文武両道」の部分だと思います。



小口 尚輝

下諏訪町・清陵附属中卒
男子バスケットボール部
京都大学 工学部へ進学



河西 智大

下諏訪町・下諏訪中卒
野球部
立命館大学 情報理工学部へ進学



樋口 梨紗子

富士見町・富士見中卒
女子硬式テニス部
法政大学 社会学部へ進学



望月 唯衣

茅野市・茅野東部中卒
女子硬式テニス部
新潟大学 教育学部へ進学



伊藤 恭子

諏訪市・清陵附属中卒
女子硬式テニス部
名古屋大学 法学部へ進学

河西：「部活が終わるタイミング」以前から、ものすごく勉強している人間が周囲にいて、それは刺激になりましたね。清陵祭も（野球部の自分はあまり参加できなかったけれど）役員たちは一生懸命取り組んで楽しませてくれました。

樋口：「清陵は自由だ」とよく言われますが、そう言いながらもきちんと「やるときはやる」人が多かった気がします。部活でも勉強でもまっすぐ取り組む人が多くて、そこが清陵のいいところだと思います。

望月：自由な空気、勉強ばかりではない、部活などを含めた充実感ですね。

伊藤：SSHにおける「課題探究」で自分の興味があるテーマをもとに論文を書き、これが結果的に大学受験（センター推薦方式）にも活かされました。SSHという理系のイメージですが、「自分にとってのテーマを見つけて取り組む」ことは文系の私にとっても有意義だったと思います。

—附属中からの内進生と高校からの入学組、相乗効果は感じましたか？

河西：例年より優秀な生徒は多かったと思います。

望月：「できる層」が厚かったと思います。定期テスト結果を見ても成績上位者が頻繁に入れ替わっていました。

—進路、進学先はどのように決めましたか？

小口：高3の夏休みにオープンキャンパスで大学に足を運んで「ここに行きたい」と思いました。

河西：部活を終えて、勉強に向かい始めても志望校はまだ決まりませんでした。漠然とあった「関西方面に行きたい」という希望から、徐々に具体化していきました。

樋口：学校全体として「まずは国公立に向かう」という雰囲気があり、自分

もセンター試験を受けましたが結果が志望校に届かず、私立目標に切り替えました。

望月：「どこの大学」というのは決めていませんでしたが、「教育系に進みたい」というのはあって、その後は担任の先生とも相談しながら受験校を決めました。他の高校はもっと手厚いサポートがあるかもしれませんが、清陵では「自ら考え、動くこと」が大切だと思います。伊藤：附属中に合格したあと、自分の中で次の目標を決めようと思い、中学の時点で「名古屋大学に行きたい」と考えるようになりました。名古屋に憧れたのは中日ドラゴンズが好きで、試合がたくさん見られると思ったからです（笑）。中学3年のときに受けた公民の授業が面白くて、「専門的に学んでみたい」と思ったのが法学部志望につながりました。

—松本や山梨など他地区への高校進学をどう捉えていますか？

樋口：富士見中では上位層の多くが甲陵高に進みました。「ライバルになるかもしれない」と思っていた人たちがみな甲陵に行ったので「自分は清陵に届くかもしれない」と思って受験しました。望月：何人かは甲陵へ進みましたが多くはなかったです。松本へ進学した人はいませんでした。

河西：自分の前年までは松本深志へ行っただけの話も聞きましたが、自分の年はいませんでした。清陵附属中ができてから優秀な生徒はそこに入るので、そのまま清陵高校に上がっているという感じでした。

—後輩に進路を相談されたら、清陵を薦めますか？

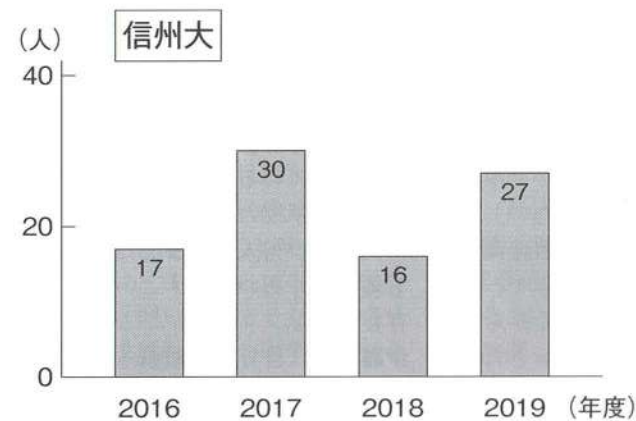
河西：この地域で清陵に入れるのならばそれを勧めます。「すごい」という存在が身近にいる環境は、とても大きいです。小学校の友人で清陵附属中に進んだ友人が何人かいましたが、皆とても優秀で「あいつ、すごいな」という存在でした。

伊藤：常に自分より頑張っている人がいます。勉強もできるし、部活も頑張っているという人たちと接していると、自分もがんばろうと思えます。わざわざ通学時間をかけて通う他の地域の高校と比べても劣っていないと思います。小口：附属中は勉強したい人には向いていると思います。部活を一生懸命やりたい人にとっては地元中で、高校から清陵でもよいのかもしれない。望月：自立ができていて、勉強でも部活でも、真剣にやりたいことがある人にとっては良い学校だと思います。

—ありがとうございました。



大学合格者数の推移 (現役のみ)



寄稿 「進路」と「学び」

伊藤 香純
(96回生)

名古屋大学農学国際教育研究センター准教授



私は、開発途上国において環境に配慮した持続的開発を導くための方法について研究をしています。例えば現金収入のために違法に伐採されてしまう森林をどのように守るのか？その違法伐採に歯止めをかけるために、農業という現金収入源をどのように向上させるか？といった課題です。主にカンボジアやネパールの農村を対象とした取り組みを始めて20年、大学教育に携わるようになって十数年になります。今年は清陵中学校1期生が卒業を迎える折ということで、「進路」と「学び」のあり方について、私自身の経験を踏まえて考えてみることにしました。

私が「文系か理系か」という進路選択を迫られたのは、高校1年生の夏休み明けでした。当時の私には、心に決めた職業や興味のある学問がなく、どのように決めればいいのか茫然としました。中学校・高校で学ぶ科目は限られていますし、世にあふれる多様な職種を知る由もありませんでした。しかし日本では、世の中がおぼろげにしか見えていない高校生の時点で、職業をも左右しうる大きな選択を迫られるのです。この戸惑いが、私を海外の大学へと向かわせました。

私は高校卒業と同時に単身アメリカに渡り現地の大学に進学しました。アメリカの大学でも、願書を出す時に学部を決める必要があります。しかし、入学後に一般教養や専門科目を履修してみて、「やっぱり違うな」と思えば、一部の特殊なコースを除いて何回でも学部の変更が可能でした。私自身、5回の学部変更に加えて、他大学への転入を経験しました。卒業という出口に到達するのは非常に厳しく過酷ですが、入り口は常に開放されていて、学びたいことにチャレンジする機会が与えられています。ただしこのシステムは、自分探しに陥って卒業に至らないというリスクとの背中合わせでもあります。

日本の大学では卒業するためのカリキュラムという線路が敷かれており、一旦入学すれば脱線することは稀です。また所属する研究室で先輩や教授から手厚い指導が受けられる点は、海外留学生からも評判のよい1つの特色です。しか

し「想像と異なっていた」、「インターンや旅行に行き、新たに学びたいことを見つけた」などの理由で再び岐路に立ち、途方に暮れている学生に遭遇することは稀ではありません。日本の大学の多くでは、学部変更には再受験が必要になります。時間もお金もかかるため、諦めてそのまま卒業する学生もいれば、退学してしまう学生もいます。好きなこと・学びたいことを見つけても、制度というハードルによって諦めざるを得ない学生を目にするたび、日本の教育システムの柔軟性の低さを残念に思います。

私は4回目の学部変更で、日本の大学には存在しなかったホテル経営学部を選択しましたが、必修科目として履修した地理学の方が楽しくなっていました。就職に有利な学部か、好きなことを学ぶ学部か。迷う私に教授は、「君には学びたいことも学費もある、そんな恵まれた人は世界中でもほんの一握りなのに、好きなことを学ばないのか？」と驚いたように言いました。この一言に背中を押されて好きなことを学ぶ道へと進みました。

その後は、毎日100ページ以上の教科書を読み、講義以外は朝から晩まで図書館で過ごす過酷な日々でしたが、好きなことを学ぶ楽しさを教えられました。自然地理学では、教授やクラスメイトとバックパックを担いでグランド・キャニオンや近年パワースポットとして名を馳せているセドナ等の国立公園をよく訪れました。1ヶ月以上もの間キャンプ生活をしながら地層、植生、先住民の文化・歴史、環境との共生について学んだ

経験は現在の研究活動や学生指導にも活かされています。環境地理学では、長野に次ぐ冬季五輪が決まったソルトレイクシティで、空港滑走路の増設に向けた環境アセスメントの実務を経験しました。好きなことを夢中で学んだことが、進学という進路や現在の職業へと自然に導いてくれたように思います。私にとって「学び」は、見いだした道を実現する手段である以前に、進むべき道を見いだすための重要な手段でした。

近年日本では、小中学生に職業体験を提供する施設や職業を紹介する書籍などが増え、進路や将来像を検討する材料が充実してきました。また中高一貫校では、早い段階から進路や将来像の検討が可能です。しかし、充実した資料を用いて早期に検討を始めたとしても、中高生で見いだされる進路や将来像は、その後の学びや経験によって変化し得るものです。その変化を肯定的に捉えて、いつでも新たなチャレンジや方向転換ができる仕組みを設けることが、より多くの学生が自らの意に沿った道・職業・生き方に到達できる社会を実現するための第一歩なのだと思います。

そのような仕組みが不十分な中では、進路変更を肯定・応援し、背中を押してくれる存在が欠かせません。自身を振り返ると、腑に落ちない進路選択を肯定して、留学へと背中を押してくれたのは両親でしたし、好きなことを学ぶ道に導いてくれたのは一人の教授でした。私自身も学生が見つけた道を応援し、背中を押せる存在でありたいと思っています。

好評！エリア拡大中！！3つのサービスまとめてお得！



ひかりdeテレビ
BS4K放送にも対応
お家のどのテレビでもSTBアンテナなしでBS放送が視聴できる！

ひかりdeネット
最大1Gbps
※ベストエフォート
高速でインターネットが楽しめるWi-Fi機能付き！

ひかりdeトーク
通話料がおトク!!
携帯電話のおトク割

お申込み
お問合せ



エルシーバイ株式会社



0120-123-833

《受付時間》
9:00~18:00

<https://www.lcv.jp/> 《本社》〒392-8609 長野県諏訪市四賀821 TEL 0266-53-3833

内科・消化器科・小児科

小松内科クリニック

院長 小松 郁 俊 (69回生)

諏訪市中洲神宮寺 245-18 TEL. 0266-53-7631

寄稿 同窓生コミュニティ開設に向けた提言

北沢 聖
(87 回生)

日鉄ソリューションズ(株)

執行役員 IT インフラソリューション事業本部長



皆さんはどんなコミュニティに入っていますか？

サッカーや野球といったスポーツ、合唱や将棋といった趣味、隣組や祭りによる地域活動、コミュニティにはさまざまな種類があり、皆さん、いろんなコミュニティに所属していると思います。

ところでそのコミュニティ、将来にわたって安泰ですか？ いつまで皆さんの心のよりどころであり続けるのでしょうか。東京で暮らして約40年。

私は清陵を卒業後、大学生、社会人として東京とその近郊で過ごしてきました。

都会で暮らすメリットの一つは、大勢の人に埋もれて、人の目を気にせず自由ということ。隣近所の名前も知らず、付き合いはほぼありません。諏訪にいた頃のような、道を歩けば知り合いに会う、周囲の目が気になるといったことから解放されました。

ただ最近になって、ふと寂しく思うことがあります。

地域の祭りはありますが、PTAや商店街が担い手の中心、私が手伝いすることもなく、参加するといっても露店でたこ焼きを買うくらい。

身近にあるコミュニティは家族と会社くらい。あとは学生時代のサークル仲間といったところです。

先日、都会から田舎へ移住した夫婦を取り上げたテレビ番組を見たのですが、その夫婦が人付き合いを煩わしいと思いつつも、周囲に助けられながら幸せに暮らしている姿をうらやましく思いました。諏訪にいた頃、煩わしいと思っていた人付き合い、コミュニティが今になればとても貴重なものに思えるのが不思議です。

なぜコミュニティが必要なのか。

人類は非力で一人では生きていけない動物だった。家族や近くの仲間と助け合うことで、身を守り、食料を確保していた。人類は協力することで生き延びることができたとし、そのために仲間と助け合う、コミュニティを築ける能力が何万年という時間をかけて進化してきた。

ほんの百年くらい前まで、集落での土木作業や祭りは皆が総出で力を合わせて行うものだった。力が強い、手先が器用だ、それぞれの能力を持ち寄って事を成し遂げるというのが当たり前だった。

しかし現在は、機械化、分業化、都市化、さらにはグローバル化が進展したために、以前のように地域の仲間が力を合わせる、地域のコミュニティが希薄化している。

さらに個人の自由が重要視される反面、興味や好みが先鋭化し、コミュニティを作る、見つけること、そして維持することは非常に難しくなりました。

インターネットの時代、コミュニティを作る、見つけることはいつでもできる簡単なことに思えますが、実はなかなか難しいのではないのでしょうか。

私も社会人になってから、平日は仕事のことで手一杯、土日は家族サービスに追われる毎日でした。付き合いのは会社の人間ばかり、ゴルフやスキー旅行など仲間はいるものの、かといって仕事を離れた付き合いというのはなぜか難しい、私の実感です。

長く続くコミュニティの基本は、上下の関係なく、同じアイデンティティを共有していることです。

仲間が集まった時に、趣味や何かを実現したいといった共通の話題がある、一

緒に体験した思い出話ができる、そういうことが、コミュニティの基本だと思います。そう考えると、長い人生の中で学生時代が一番、コミュニティを作るのにはよい時期なのではないでしょうか。

毎日、顔を合わせて一日一日を過ごす、学園祭、運動会などの行事を力を合わせて行うことで共通の思い出を作るというのは、コミュニティの基礎を作るという観点からも、貴重な機会だと思うのです。

我々、清陵の同窓生は、校是である「自反而縮雖千萬人吾往矣」をいつの間にか諳んじていました。

そして長すぎる、覚えられないといながらも、学生時代3年間を通じて、第一校歌、第二校歌を覚え、その中で謳われている諏訪、そして日本、世界を担っていくという気概、プライドを共有してきました。

コミュニティが希薄化してしまった現代において、こうした強いアイデンティティを共有する我々 清陵生がコミュニティを作る ということは大きな価値があります。

清陵の同窓生というつながりをもとに、
— 子育て、健康といった情報をやり取りする
— 趣味の仲間を集める
— 仕事をするうえで様々な相談や情報交換ができる

といったコミュニティを作ることができれば、素敵なことだと思います。

日本全国、そして世界中に散らばっている清陵の同窓生が、SNSなどを使ってコミュニティを作り、一つの大きな力となることで、校歌で謳われている理念に一步、近づければうれしいですね。

寄稿

SUWA 小型ロケットプロジェクトの軌跡と可能性

武井 敦子
(108 回生)

太陽工業株式会社

技術開発センター 研究開発グループ



・はじめに

2020年3月1日にSUWA 小型ロケットプロジェクトによる5回目のハイブリッドロケット打上実験が行われた。実験場所となったのは諏訪湖である。多くの地元の方に立ち会って頂いた。また県内のメディアでも取り上げられた。ご覧になった方もおられるだろうか。

SUWA 小型ロケットプロジェクトは2015年、内閣府地方創生交付金「諏訪圏6市町村によるSUWA ブランド創造事業」の主軸プロジェクトとして始まった。次世代の産業を担う人材育成を目標に、製造業の集まる6市町村と信州大学の連携により進められてきた。

私も諏訪市に本社を置く太陽工業株式会社より、本プロジェクトに参加している。本稿ではプロジェクトを通して得られた成果や今後の諏訪地方の発展に向けたプロジェクトの役どころについて感じたところを挙げたい。

・プロジェクトにおける成果

本プロジェクトではハイブリッドエンジンを搭載した小型ロケットを手がけている。固体燃料と液体の酸化剤を併用するもので、固体燃料エンジンや液体燃料エンジンと異なり、安全性が高く環境負荷が低い。第3のロケットエンジンと呼ばれJAXAでも研究開発が進められている。5回の打上実験の中で段階を踏んで技術を確立してきた。

初めての打上は2015年のアメリカ製の市販のエンジンを使用したロケット「SRP001」である。エンジンに関する技術開発を進めるためにプロジェクトでエンジンを作製することとし、翌年には諏訪で製作したエンジンを用いたロケット「SRP002」の打上を成功させた。

「SRP003」では推進力を向上させられるエンジン性能の確認もできた。エンジンだけでなく機体の軽量化のために次世代材料として注目される炭素繊維強化プラスチック(CFRP)の製造・加工にも取り組み、「SRP003」からは筐体に採用している。高精度な落下位置の予測のためのシミュレーション技術の採用や、落下位置の調整を確実にするためのパラシュート放出機構の開発も行い、「SRP004」の打上実験で実証した。そしてそれらの集大成として初めての諏訪湖での「SRP005」の打ち上げ実験に臨み、成功を収めたのである。(写真1)

・「みんなのロケット」としての可能性

プロジェクトのコンセプトのひとつに「みんなのロケット」がある。手がけてきたロケットはプロジェクトメンバーのものだけでなく、諏訪に住む人々に愛着を持ってもらいたい、さらには日本の誇れる技術として世界に発展させたい、という願いを込めてである。そのコンセプトのもとに企画したのが地元の子供と協力した外観デザインである。募集した複数のイラストをすべて組み合わせてシル印刷し、筐体に張り付けた。

初めてこの外観デザインを企画したときに協力してくれたのは清陵高校附属中学校であった。SUWA 小型ロケットプロジェクトによる講演会と座談会を通してプロジェクトについて理解してくれており快く引き受けてくれた。実際にイラストを描いたロケットを見て喜んでく



(写真1)

れた生徒の笑顔は私にとって宝物である。(写真2) それ以降、イラストの募集対象をさらに広げながら「みんなのロケット」として進んできた。この取り組みが諏訪の製造業と生徒たちを結びつけることになり、将来の発展を担う人材が現れるのではないかと期待している。

本プロジェクトを通して技術が発展しただけでなく諏訪の企業間でつながりが持てた。本プロジェクトは、今後もSUWA ブランドとして企業間の連携を深め技術発展と魅力発信の継続に有効な存在として続いていくだろう。さらなる発展のために諏訪という地域にとらわれずに日本中、世界中で協力の輪を広がることも必要だ。興味を持って頂ける企業や技術者の参加を心待ちにしている。



(写真2)

Athlete

事業内容

半導体製造装置・工場自動化設備の設計・製造・販売

アスリートFA株式会社

代表取締役会長 山崎 晃 (64 回生)

本社所在地: 〒392-0012 諏訪市四賀2970-1

TEL: 0266-53-3369 FAX: 0266-53-3538

http://www.athlete-fa.co.jp

関連会社: 愛立発自動化設備(上海)有限公司



http://www.nagano-np.co.jp

長野支社・伊那支社・東京支社
諏訪湖総局・茅野総局
富士見支局
駒ヶ根支局・辰野支局地域と
歩み続けます

長野日報社

本社/〒392-8611
諏訪市高島3丁目1323-1
TEL0266-52-2000

寄稿 岩波茂雄の文化勲章について思うこと

平島 佐一

(51 回生)

S48～S58 清陵高校国語科教諭。下諏訪向陽高校長など歴任。
定年退職後、諏訪市立風樹文庫在籍中に岩波家と親交

朝日新聞発行の「20世紀年表」を見ると大正2年(1913)最も影響を与えた人物として岩波書店創立者、岩波茂雄を取り上げている。大正2年といえば東京神田神保町に岩波書店が開業した年である。爾来、昭和21年(1946)4月、65歳の年齢をもって他界するまでの33年間、出版業を通じて「学問を万人のものに…」(読書子に寄す)をモットーとして良書を廉価にて提供することを営業方針として日本の学術・芸術・文化の発展向上に努めた。ある読者は「私の教養の一切を岩波文庫に託す」といい、岩波書店の出出版物に賛辞と信頼をよせた。しかし、30余年にわたる間に日本のファシズムは急速に進み、ついに日中戦争から太平洋戦争へと破局の道をつ走り、結果は敗戦という事態を招き、戦争は終わった。この間、言論・出版物は公権力によって統制、検閲を余儀なくされたが、岩波茂雄は戦時下にあっても決して軍部に迎合することはなかった。一部発禁処分を受けたが自らの信念を曲げることはなかった。清陵で校是にもなっている「自反而雖、雖千萬人吾往矣」を地でいく体現者でもあった。

近代教育の歩みを辿る時、換言すれば、諏訪の中等教育の黎明期、明治28年(1895)諏訪清陵高校の前身、諏訪実科中学が発足した。岩波

茂雄はその第1回生として入学したが1年の15歳のとき父を喪い、母も茂雄が東京帝国大学を卒業直前の明治41年(1908)茂雄27歳の時この世を去った。茂雄は生前親に何一つ孝養できなかったことを悔い、風樹の嘆きを終生忘れることはなかった。諏訪市中洲にある「信州風樹文庫」の名前の由来はこれに因る。岩波茂雄は多くの良書を世に提供した一方、財団「風樹会」を設立し学術進展のため学者、研究者、教育者らに経済的支援を惜しまなかった。

岩波茂雄は晩年の昭和20年(1945)、貴族院議員に選ばれたが間もなく終戦。翌21年(1946)、長年にわたる功績が評価され「文化勲章」を授与された。茂雄は「出版を通し文化の配達夫としてお役に立てたことは嬉しいことである」と述懐している。

母校清陵高校は本年125周年を数えるが、同窓生の中で岩波茂雄以外文化勲

章の栄に浴した人はいない。平成13年(2001)、岩波茂雄生誕120周年記念事業が大々的に執り行われた。この時、岩波家から文化勲章とデスマスクが披露公開された。写真はこの時岩波家の許可を得て撮ったものである。この度、受賞写真を母校に寄贈するに当たり、岩波家の了解を得て進めるなかで、茂雄の孫の岩波力さん、同じく孫の種田真治さん、岩波書店の取締役を務めた寺島敏郎さん(50回生)、岩波書店から大変ご好意を頂いた。加えて51会の岩波裕次、山崎壮一、細川昭八、三井章義諸氏から「学校へのいいプレゼントになるのじゃないか」と賛同を得て、学校長 三枝先生にお渡しすることができた。

岩波家からは「今なお茂雄爺のことをいつまでも大事に思っ下り、敬愛して下さることを感謝し、頭が下がります」とのコメントが寄せられた。



岩波茂雄



岩波茂雄の文化勲章とデスマスク(写真)

母校連携交流事業

清陵祭に同窓会で初出展

2019年6月22日(土)～23日(日)、第69回清陵祭に「同窓会の魅力を知る部屋」を出展しました。南校舎3階「社会3番教室」の半分を使用して同窓会活動のポスター展示、総会の記録映像の放映などを行いました。2日間の来場者は195名でした。

＜アンケート結果：展示で関心があるものは？＞

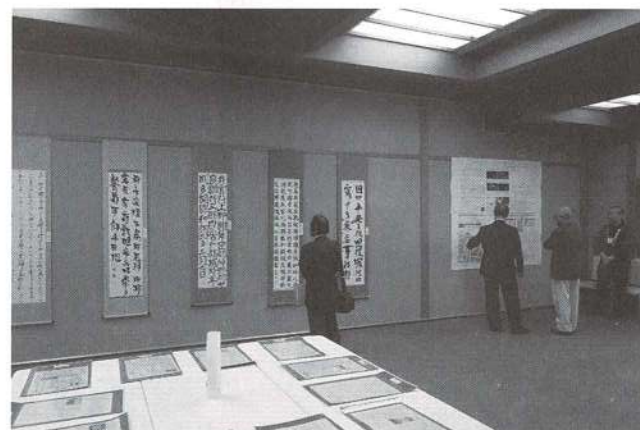
- ・今年の総会企画 …… 4%
- ・母校連携活動 …… 6%
- ・女性部活動 …… 10%
- ・地域支部一覽 …… 2%
- ・清陵今昔 …… 35%
- ・活躍する同窓生 …… 35%
- ・東京清陵会行事 …… 6% (複数回答可)



同窓会総会で現役生の作品展示を実施

2019年6月29日(土)の総会の際にホテル「紅や」で約50㎡の展示スペースを使って、現役高校生、中学生の作品展示「生徒活動報告」を行ないました。

- ＜展示内容＞
- ・中学校 研究発表作品 12点
- ・書道部掛軸 5点
- ・天文気象部 ポスター 2点
- ・美術部絵画 大型3点 小型4点
- ・「家縛りプロジェクト」展示
- ・同窓会女性部 ポスター
- ・同窓会活動 ポスター



「キャリア教育」に講師を派遣(3年目)

昨年度に引き続き、2019年10月19日(土)に高校2年生を対象とした第3回諏訪清陵高校キャリア講演会が行なわれました。各方面で活躍している同窓生10名を講師として派遣しました。講師の人選・派遣は、東京清陵会の協力により行われました。

直前の10月12日に上陸した令和元年東日本台風(台風19号)により、関東地方や甲信地方、東北地方などで記録的な大雨となり、長野県内にも千曲川の決壊など甚大な被害をもたらしました。JR中央本線、中央自動車道などが被災し、不通となった影響で3名の講演が中止となりました。

令和元年キャリア講演会 講師一覽

分野	氏名	回生	職業・勤務先	
文学	三沢 陽一	102	小説家	
金融	岡 真也	101	(株)三菱UFJ銀行	※
経営	小林 広治	94	(株)キズナキャスト代表取締役	
社会	北沢 聖	87	日鉄ソリューションズ(株) ITインフラソリューション事業本部長	
医学	高木 希奈	99	精神科医 産業医	
薬学	小池 伸	106	明治薬科大学 分析化学研究室助教授	※
理学	小松 文美	91	CSLペーリング (血液製剤メーカー)	
理学	宮坂 広夫	82	ライオンハイジーン(株)	
工学	村田 和広	87	(株)SIJテクノロジー代表取締役	
建築	竹内 雅彦	82	清水建設(株) 設計本部 業務設備設計部	※

※：台風19号による災害のため中止

生徒活動展示について

今年の定期総会が延期となったため同時開催を予定していた生徒活動展示は、下記の同窓会HPでおこないます。

<https://www.suwaseiryoy.jp/>

アクセス時に必要なパスワード：Fuji-Moriya
生徒の各種作品を撮影して順次掲載予定です。

ご宿泊
日帰り宴会
会議
パーティー承ります

HOTEL BENIYA

TEL:0266-57-1111 〒392-8577 長野県諏訪市湖岸通り2-7-21

詳しくは、 [ホテル紅や](#)

生活応援
みんなの暮らしをバックアップ!

お葬儀・仏壇・墓石・和伊レストラン・ケータリング
生活雑貨・ギフト・ご婚礼・りんごの会

代表取締役社長 太田 博久 (86回生)

生活応援企業 **太田屋**

松本・岡谷・諏訪・長野・上田・佐久・伊那
本社/諏訪市中洲5723-3(諏訪ふれあい広場)
Tel:0266-54-3555 Fax:0266-54-3553
太田屋 株式会社 <http://www.ohtaya.co.jp/>

みなさまに育てられた
信州・市民新聞グループ

諏訪・上伊那地域において
7つの新聞で街の話題をお届けしています。

代表取締役社長 薩摩 建 (94回生)

〒394-0028 長野県岡谷市本町3-8-30
購読 0266-22-8001(遠方郵送可) 広告 0266-22-8000

女性部活動のご紹介

「同窓会にこれまで以上に女性会員に携わって頂くことを目的」として、2018年本部総会で女性部が設立されました。以来、手探り状態ながらも、役員が本部・支部総会へ参加をし、女性会員の掘り起しと共に、女性部に対するご理解・ご協力をお願いしてきました。また、イベント実施で、男女を問わず、様々な世代の同窓生の方々のご協力・ご参加を頂き、同窓生交流の場作りに努めてきました。

現在、201名の女性会員のご登録を戴き、14の学年(63,64,67,72,76,78,79,80,84,85,86,87,88,93 回生)から女性幹事を選出し、ほぼ全支部に支部女性部や女性役員を選出して頂くことができました。

今後も、このような女性部の活動が、女性会員だけでなく、全会員の皆さんの同窓会参加に繋がっていくよう、また、より多くの同窓生の皆さんに同窓会ならではの多様性を楽しんで頂ける様、活動していく所存です。

これまでの活動への皆様のご協力に感謝すると共に、今後の活動機会に、より一層のご協力とより多くのご参加を頂きますよう、お願い致します。

女性部部长 小尾順子(78 回生)

～今後実施予定のイベント～

第6回イベント 日帰り研修旅行

「日本モンキーセンター・京大霊長類研究所と犬山城」

京大霊長類研究所見学と今井啓雄京大教授(89 回生)による講演「霊長類の多様化と食の進化」、JMC スポットガイド、犬山城見学、など、盛り沢山な内容です。諏訪地方からは貸切バスにて、他支部地域からは現地集合にて、全国同窓生の参加機会として、昼食時に懇親会をします。

※2020年5月17日に予定していた第6回イベントは、新型コロナウイルス感染予防のため、本年度は開催延期を決定しました。次回開催は2021年度の予定です。

夏のイベント 体験乗艇「下諏訪レガッタ参加を目指して！」

早朝より下諏訪漕艇場で、ナックルフォアを漕ぎます。端艇部OBのご指導のもと、エルゴによる練習後に乗艇します。

写真・霊長類研究所提供

秋のイベント 「上社周辺街あるき」

約1.5km,3時間で、諏訪大社上社周辺 前宮から本宮へ名所を巡り(神原→峯の湛→狐塚→神長官→高過庵・低過庵→武居城→神宮寺銘水→神宮寺伽藍→法華寺吉良の墓→本宮)ながら、上社周辺まちづくり協議会小島実会長(72 回生)を講師に散策します。

※イベントの実施可否、開催時期等詳細は、女性部登録アドレス、各支部女性部、事務局宛に電子メールで連絡致します。

上記イベント詳細は、総会、支部会、登録アドレスなどを通じてご連絡を差し上げます。イベント参加希望者、講師としてイベント企画を持ち込んで頂ける方、女性部に登録頂ける方、事務局メンバーとして一緒に活動して下さる方々、などを募集しています。

ご興味おありの方は 女性部アドレス seiryoseibu@yahoo.co.jp にご連絡下さい。

設立からこれまでの活動経緯

2018年2月
第1回女性部イベント：ランチ会・女性部企画検討 18名

2018年5月
第2回女性部イベント：岡谷蚕糸博物館見学、染色体験 16名

2018年6月 同窓会総会にて女性部設立

2018年10月
第3回女性部イベント：諏訪清陵中学棟見学と講演会「諏訪の女子力」(諏訪力講座と合同企画) 40名

講演：青木瑞枝さん(56 回生)、池上昌子さん(56 回生)、岩崎信子さん(62 回生)



2019年6月

第4回女性部イベント：下諏訪街あるき 16名

下社秋宮神宮寺跡を中心に3万年のまちあるき
本陣岩波家&宿場街道資料館&下諏訪町埋蔵文化財センター、
協本陣カフェ



2019年7月

第5回女性部イベント 縄文人に会いに行こう ～蓮の花咲く井戸尻考古館へ 17名

井戸尻考古館見学、古代蓮を見ながら
縄文バーベキューランチ
民俗資料館で珈琲トーク「井戸尻遺跡と清陵生」



2020年1月

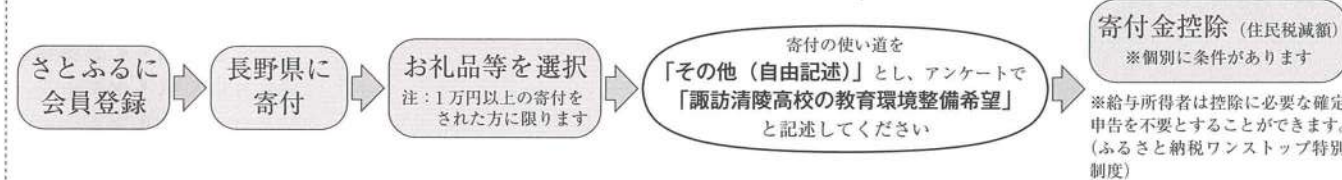
女性部総会(新年会)の開催 16名

支部女性役員・女性学年幹事による組織化、活動計画の審議



長野県外在住の同窓会員の皆様へ

ふるさと納税制度 を使って間接的に 母校への寄付 ができます



ホームページから簡単に

さとふる www.satofull.jp

[お問い合わせ] 諏訪清陵高校事務局
TEL: 0266-52-0201 Mail: seiryoseibu@pref.nagano.lg.jp

SWATEC

美しい未来環境を創る



スワテック建設株式会社

〒392-0017 長野県諏訪市城南二丁目2353番地
Tel. 0266-52-4343 Fax. 0266-52-4347

粉一筋に百余年 株式会社 高山製粉 諏訪そば打ち道場

諏訪市中洲神宮寺 465-3



信州そば・上新粉・米の粉
うぐいすきな粉・麦こうせん

家族と仲間と楽しい
そば打ちコミュニケーション!

代表取締役 高山猛英 (69 回生)

120周年史（平成8年～令和2年史）編纂への御協力をお願い 120年史編集委員長 石城正志（78回）

現在、120周年事業の一環として編集作業を進めております120年史ですが、本校には『清陵八十年史』と『写真でつづる清陵の百年』という2つの立派な刊行物があることから、『写真でつづる清陵の百年』以降、具体的には平成8年（1996年）以降の歴史を記録できればと考えております。

この20余年の歴史を、中高一貫教育とスーパーサイエンスハイスクール（SSH）を中心に記述できればと考え編集作業を進めて参りましたが、現在行き詰っております。

その理由は、当然のことですが中高一貫とSSH関連以外にも様々な出来事があり、それらを記述することなしにはこの間の歴史として不十分なこと、しかしながら、それらを記述するための資料がほとんどないことが挙げられます。

書きかけの『諏訪清陵高等学校・諏訪清陵高等学校附属中学校平成8年～令和2年史』については同窓会のHP（<http://www.suwaseiryjo.jp/>）に掲載してありますが、ご覧になっていただければわかるとおり、全く不十分な状態です。特に、当時本校にいらした職員・生徒でなければ知り得ない事柄や、当時の学校の雰囲気や在籍された皆様の「思い」の部分については全くすくい取ることが出来ておりません。

そのため、平成8年（1996年）以降の、歴代校長、教頭、SSH担当、中高一貫開設準備室の先生方に、御寄稿をお願いいたしました。ただ、それだけでも不十分と考えます。そこで、この間に生徒や職員として在籍した同窓生の皆様に広く寄稿していただくことにより、空白を埋めていければと考えました。つきましては下記の要領により原稿をお寄せいただければ幸いです。多くの皆様の積極的な御寄稿を心よりお待ちしております。

なお、今回編集する120年史（『諏訪清陵高等学校・諏訪清陵高等学校附属中学校平成8年～令和2年史』）につきましては、将来の本格的な刊行物に向けた資料収集・整理を目的とし、同窓会HPへの掲載を最終目標としております。あらかじめ御了解ください。

原稿依頼対象者

- ・平成8年（1996年）から現在まで生徒として在籍した同窓生（100回以降）については、ぜひ各年代でひとり以上の執筆をお願いしたいと思います。何人でもかまいませんが、どなたかが代表して執筆される場合には学年幹事の方を中心に御相談ください。
- ・この間に職員として在籍した同窓生の皆様も振って御寄稿ください。
- ・この間、生徒・職員として在籍されなかった方でも、この間の事柄について御寄稿いただける方は御寄稿下さい。

形式など

- ・形式、文字数の制限は一切ありません（HP掲載が最終目標のため）。
- ・中高一貫やSSH関連のことばかりでなく、ぜひ歴史として残しておくべきことがありましたら、そちらについても自由にお書きください。
- ・いただいた原稿については、基本的には、そのまま120年史に掲載させていただきますが、こちらの判断で改変させていただく場合もあることをあらかじめご承知おください（その際にご相談させていただきます）。

- ・こちらで編集中の通史にあたる部分に欠けている内容については、活用させていただく場合があることをあらかじめご承知おください。
- ・写真、文書などお貸しいただける資料がございましたら、お知らせください。

お願い

- ・100回（平成8年度3年生）以降の学年幹事の方、寄稿の意思のある方は、先ずは下記メールアドレスまでご連絡をいただければ幸いです。
- ・以降、メールでご相談させていただければありがたいです。

締め切り 2020年11月末日

送付・問い合わせ先

石城 正志
E-mail suwaryoku@gmail.com
〒392-0002 諏訪市湯の脇2-11-16
電話 090-5419-8812

この街が好きだから。



諏訪信用金庫

SUWA SHINKIN BANK

令和2年度同窓会報「学校だより」

平成31年4月4日（木）、令和元年度の入学式（中高合同）が行われ、高校生240名（男子121名、女子119名）及び附属中学校生80名（男女各40名）が入学しました。附属中学校3期生80名が全員高校への入学を果たし、高校に1期生から3期生まで揃い、中高一貫校としての姿が実現した年となりました。

それでは、生徒の活躍を中心に、この1年間の学校の様子をお知らせします。（以下敬称略）

高等学校運動系クラブ

陸上部と端艇部が、全国高校総体（インターハイ）で活躍しました。陸上部は、男子800mと男子4×400mリレーの2種目で出場。男子800mで2年二見優輝が4位入賞を果たしました。二見は、同種目でU18日本陸上競技選手権大会にも出場、見事優勝を勝ち取りました。端艇部は、女子シングルスカルに3年武井愛奈が出場、見事優勝を勝ち取りました。武井は、同種目で国体にも出場、こちらも見事優勝を果たしました。2人の今後の活躍が楽しみです。

スキー個人においても、2年吉川円香が県大会を勝ち上がり、アルペンGSで全国高校総体出場を果たしています。

新人大会でも多くの運動部が県大会に出場しています。陸上部は、北信越新人大会において、男子1500mで二見拓輝が、男子3000mSCで當銘岳が、それぞれ6位入賞を果たしています。

それぞれの運動部の令和2年度の活躍が期待されます。

■長野県高等学校総合体育大会の主な成績

<陸上部>=県大会

男子800m：二見優輝=1位

男子1500m：二見優輝=2位

男子4×400mリレー=2位

女子七種競技：吉川円香=7位

女子走高跳：長田美羽=7位

<端艇部>=県大会

男子クオドルプル=3位

女子クオドルプル=2位

女子シングルスカル：武井愛奈=1位

板花果穂=2位

女子ダブルスカル=3位

<テニス・女子>=県大会団体出場

<女子バスケットボール>=県大会出場

<ハンドボール・男子>=県大会出場

<山岳・女子>=県大会団体ベスト8

<剣道・男子>=県大会団体出場

<剣道・女子>=県大会団体出場

<水泳>=県大会個人出場

■ブロック大会・全国大会等の成績

<陸上部>=北信越大会

男子800m：二見優輝=1位

男子1500m：二見優輝=7位

男子4×400mリレー=5位

<陸上部>=全国高校総体

男子800m：二見優輝=4位

男子4×400mリレー=全国出場

<陸上部>=U18日本陸上競技選手権大会

男子800m：二見優輝=1位

<端艇部>=北信越総体

男子クオドルプル=5位

女子クオドルプル=2位

<端艇部>=全国高校総体

女子シングルスカル：武井愛奈=1位

<端艇部>=国体

女子シングルスカル：武井愛奈=1位

■長野県高等学校新人体育大会等の主な成績

<陸上>=県新人大会

男子800m：二見優輝=1位

男子1500m：二見優輝=1位

：二見拓輝=4位

男子3000mSC：二見拓輝=3位

：當銘岳=5位

男子4×400mリレー=4位

女子400mH：吉川円香=3位

女子走高跳：長田美羽=6位

<端艇部>=県大会

男子クオドルプル=3位

男子シングルスカル：金子拓視=2位

：篠原勝己=3位

男子ダブルスカル=3位

漢方相談・処方箋調剤



二葉薬局

代表取締役 井上 幸彦（84回）

浜 正一（70回）

松木 優（72回）

〒392-0026 諏訪市大手1-3-2

TEL:0266-52-1242 FAX:0266-52-3460



昭和シェル石油特約店

株式会社 細川商店

諏訪市諏訪二丁目10番4号 ☎本店 (0120) 210-613

相談役 細川 昭八（51回）

代表取締役社長 細川 洋一（84回）

常務取締役 細川 浩二（86回）

女子クオドルブル＝2位
女子ダブルスカル＝2位
＜男子バレーボール＞＝県新人大会出場
＜女子バレーボール＞＝県新人大会出場
＜女子バスケットボール＞＝県新人大会出場
＜テニス・男子＞＝県新人大会個人出場
＜テニス・女子＞＝県新人大会個人・ダブルス出場
＜卓球＞＝県新人大会団体出場
＜剣道・女子＞＝県新人大会団体出場
＜ハンドボール＞＝県新人大会出場
＜水泳＞＝県新人大会出場

■ブロック大会・全国大会等の成績

＜陸上＞＝北信越新人大会
男子1500m：二兄拓輝＝6位
男子3000mSC：當銘岳＝6位
＜端艇部＞＝中部選抜大会
女子クオドルブル＝5位

高等学校文化系クラブ

平成30年度に長野県で開催された全国高校総合文化祭「信州総文祭」の熱気が未だ残る中、多くの文化系クラブが様々なところで活躍しています。

音楽部、生物部、天文気象部、書道部が県予選を勝ち上がり全国高校総合文化祭に出場し、活躍しました。物理部は、ブロック大会を勝ち上がり、宇宙エレベーターロボット競技会全国大会出場を、演劇部は、県予選を勝ち上がり、関東大会出場をそれぞれ果たしています。

＜音楽＞
○NHKコンクール県大会＝銀賞
○全日本合唱コンクール中部大会＝銀賞
＜かるた＞
○県高校かるた大会＝団体3位
○県高校新人かるた大会＝団体3位
＜書道＞
○第72回長野県展：中島密＝特選
：通崎夏帆＝金賞
○第43回全国高校総合文化祭：文化連盟賞（小谷・碓井）
＜フォークソング＞
○県大会Power Live 2019 K
あるくとーふ＝ベスト16
○県フェスティバルPower Live 2019 KF

金欠キャロット＝ベスト8
HEXER＝ベスト8
＜古典ギター＞
○全国高校ギター・マンドリン音楽コンクール＝優良賞
○県高校ギター・マンドリンフェスティバル＝優秀賞・県代表
＜物理部＞
○宇宙エレベーターロボット競技会ブロック予選＝3位
○宇宙エレベーターロボット競技会全国大会出場
＜生物部＞
○第43回全国高校総合文化祭出場
＜天文気象部＞
○日本地球惑星科学連合2019出場
○第43回全国高校総合文化祭出場
＜演劇部＞
○第55回関東高等学校演劇研究大会＝優良賞

学友会行事等

6月21日（金）から6月24日（月）まで学友会最大の行事である第69回清陵祭が「凜凜（せいりん）」のテーマのもと華やかに開催されました。天候にも恵まれ、一般公開中は、各会場ともに身動きがとれないほどの観客で賑わいました。文化系クラブにとっては、日頃の練習・研究の成果を発表する重要な機会、音楽系のクラブを中心に最高のパフォーマンスを披露してくれました。コモンスペースでは学友会を中心に様々な催しが行われ、素晴らしい空間になっていました。心残りは、落雷の恐れがある状況になり、ファイヤーストームが実施できなかったことです。生徒たちは、ファイヤーストームの代わりに大体育館の中を思い切り走り、清陵祭を締めくくりました。

9月2日（月）には伝統行事の一つ端艇大会が、ナックルフォアの男子、女子、混成の3種目クラス対抗で行われました。生徒は夏期休業明けから、放課後下諏訪町漕艇場で練習し大会に臨みました。短い練習期間でしたが、3年生を中心に息のあったチームが結成されました。久しぶりに好天に恵まれ、波もない絶好のコンディションの中で実施することができ、3年6部が総合優勝を飾りました。

10月24日（木）には第106回湖周マラソン（中学は第6回）が、開催されました。OBの皆様も多数参加され、牛正坂のレモンに励まされながら、全員が完走しました。男子優勝は、由澤汐七、女子優勝は、岡崎七海です。

SSH事業

本校は、平成14年度からSSH（スーパーサイエンスハイスクール）に指定され、28年度の1年の中断がありましたが、29年度から第4期の指定を受けています。平成元年度は、第4期開発型基礎枠の中間評価実施、重点枠の指定最終年度でした。

基礎枠では『学習の場「清陵ネット」で展開する探究力あふれる人材の育成』をテーマに、学校全体を探究心あふれる人材で満ちた環境にするために、「授業時間に限定されない、卓越した研究を導く自由な課題探究の場を保障するカリキュラム」の研究開発を目指し、今までの事業も踏襲しながら、生徒の興味・関心を広げ、研究を深められるよう体系的な取組を行っています。課題探究を深めるために既存のSNSを活用し、自身の探究について、多面からの意見をいただいています。

探究スキルを習得し、それを活用する学校設定科目「問題発見」、探究意欲を呼び起こすサイエンスハイスクール・インスパイア・プロジェクト（SHIP）等、県内高校の理数教育を牽引するような取組を実践しています。

指定最終年度となるSSH重点枠「社会との共創」では、生徒が自主的・主体的に社会における実際的な課題を発見し、設定した課題の解決に向け、地域の企業、研究機関、NPO法人等との連携を深めて科学的探究活動を行ってき

ました。
諏訪力講座、諏訪圏工業メッセ見学、先端技術企業研修等で諏訪の地域や企業が持つ本質に直接触れる活動を中心とし、取り組む課題を明確にしながら、諏訪地域の企業と連携を図り、新たなイノベーションの創造に挑戦しました。令和元年度も、国境を越えた同世代間の問題解決学習の交流を行うことにより、将来世界で活躍する科学技術系人材を育成する目的で、県教育委員会の「サイエンス・アソシエーション・プロジェクト」のご支援をいただき、3月の「アメリカ西海岸先進企業・大学研修」を計画し、グーグル社と連携し事前学習を進めていました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大により、残念ながら研修を断念しました。内容の濃い研修を企画していただいただけに残念でありません。

新型コロナウイルス感染症の影響は、卒業式にも及び、令和2年3月5日（木）に、卒業生と教職員のみ参加、全員マスク着用第72回卒業証書授与式を挙行し、235名（男子130名、女子105名・123回生）が学び舎を後にしました。感染防止を目的に時間短縮を図ったため、校歌斉唱を行わない異例の卒業式となりました。

清陵附属中1期生を含む清陵高校123回生の合格状況は表にお示ししたとおりです。

令和元年度末 教職員人事異動

転・退職職員			新任職員	
氏 名	転出先等	教科等	氏 名	前任校等
小池 徳男	学びの改革支援課 （教育主幹兼義務教育指導係長）	副校長	赤羽 勲夫	小諸市立芦原中学校（教頭）
上條 浩	松本県ヶ丘高校	数学	木下 寛子	新規採用
吉田 和正	退職	理科	和田 貢	新規採用（飯田 OIDE 長姫高校）
三石 洋平	阿智高校	保健体育	上條 文子	松本美須々ヶ丘高校
塩野 敏彦	退職	英語	高安 正俊	下諏訪向陽高校
田中絵梨奈	岡谷東高校		新津 夏菜	松本美須々ヶ丘高校
中村 孝規	松本市立信明中学校	中学・国語	棚秋 佳典	伊那市立伊那中学校
名取 克裕	富士見町立富士見中学校	中学・理科	石井 俊彦	岡谷市立岡谷西部中学校
藤森 美紀	総合教育センター（専門主事）	中学・英語	清水 愛	岡谷市立岡谷北部中学校
小口 有子	諏訪保健福祉事務所 （専門幹兼福祉課社会係長）	事務	百瀬 信二	諏訪実業高校
河西 優希	退職		高木 保夫	岡谷工業高校

最先端技術にはロマンがある

理想を追求した **イズカットトランス™**

ノイズ障害防止の切り札で、近未来に先駆けるトランス型ノイズ防止素子です。



高度情報化社会のアクセス鍵＝不要電磁波・ノイズ障害の防止に尽くす
株式会社 電研精機研究所
創業者（工博）矢ヶ崎昭彦（47回）

本 社：〒203-0042 東京都東久留米市八幡町1-4-21 TEL 042-473-3745(代) FAX 042-474-0613
大阪営業所：〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1-7-5 TEL 06-6538-1118(代) FAX 06-6538-2777
ノイズトラブル相談室 ノイズトラブルに関するご相談・調査・技術援助等を受けます。 URL <http://www.denkenseiki.co.jp/>

仙岳 代表取締役社長
小口慶一郎
(84回生)

＜諏訪本店＞
諏訪市
湖岸通り5-17-3
05-17-3
TEL: 0266-58-3515

＜松本店＞
松本市
深志2-2-15
TEL: 0263-35-7849

着麗工房 もう着られないと思った衣類も
復元加工で再生

大成クリーニング

代表取締役 **玉本 弘人** (85回生)

諏訪市豊田 1830-6 TEL 0266-53-3121

令和元年度（2019 年度）入試結果（令和2年4月現在）
卒業生数：235 進学者数：185 就職者数：0 進学率：78.7%

国立大学

大学名	現役	既卒	合計
帯広畜産	1		1
北見工業	1		1
北海道	4		4
岩手		1	1
東北	4		4
山形		1	1
茨城	1	1	2
筑波	5	1	6
宇都宮	1		1
群馬	1		1
埼玉		2	2
千葉	3	4	7
電気通信		1	1
東京	1		1
東京外国語	1		1
東京学芸	3		3
東京工業	1	1	2
横浜国立	1	3	4
新潟	4		4
富山	2		2
金沢	2		2
福井		1	1
山梨	3	2	5
信州	27	2	29
岐阜	1		1
静岡	3		3
名古屋	2	1	3
滋賀	1		1
京都	2		2
大阪	1		1
島根	1		1
広島		2	2
国立大学合計	77	23	100

公立大学

大学名	現役	既卒	合計
会津	1		1
東京都立 (首都大学東京)	4	1	5
横浜国立	3		3
新潟県立	1		1
都留文科	1		1
山梨県立	1		1
長野県立		1	1
長野県看護	1		1
諏訪東京理科	1		1
静岡県立	1	1	2
愛知県立芸術	1		1
滋賀県立	1		1
新見公立大		1	1
名桜	1		1
公立大学合計	17	4	21

医学部医学科

大学名	現役	既卒	合計
福井		1	1
金沢	1		1
信州	2		2
医学部医学科合計	3	1	4

私立大学

大学名	現役	既卒	合計
北海道文教		1	1
国際医療福祉	1		1
白鷗	1		1
高崎健康福祉	1		1
城西	2	2	4
獨協	4	3	7
文教	10	3	13
神田外語	1		1
城西国際	1		1

大学名	現役	既卒	合計
千葉工業	29	1	30
和洋女子	1		1
青山学院	3		3
大妻女子	3		3
桜美林	2		2
学習院	4	1	5
北里	4	1	5
共立女子	2		2
杏林	1		1
慶應義塾	5		5
工学院	4	4	8
駒澤	5	2	7
実践女子	3	1	4
芝浦工業	9	5	14
順天堂	3	1	4
上智	2	1	3
昭和	1	1	2
昭和女子	1		1
昭和薬科	2	1	3
成蹊	2	3	5
成城	6	1	7
専修	10	4	14
創価	3		3
大東文化	1	2	3
大正		2	2
拓殖	1		1
多摩美術		1	1
中央	11	4	15
帝京	2		2
帝京平成		1	1
東海	3	2	5
東京家政	5	1	6
東京経済	4	1	5
東京工科	6	2	8
東京女子	1	1	2
東京電機	5	1	6

大学名	現役	既卒	合計
東京農業	7	7	14
東京薬科	2	2	4
東京理科	8	1	9
東邦	1		1
東洋	14	9	23
日本	7	10	17
日本獣医生命科学		1	1
日本女子	1		1
日本体育	3		3
法政	9	5	14
東京都市	3		3
星薬科	1		1
武蔵		1	1
武蔵野	11	1	12
武蔵野美術	1		1
明治	10	9	19
明治学院	1	1	2
明治薬科	3		3
明星	4	1	5
立教	9	4	13
立正	1		1
早稲田	10	1	11
神奈川工科	2	1	3
神奈川	7	3	10

大学名	現役	既卒	合計
関東学院	5		5
湘南工科	1		1
フェリス女学院	2		2
新潟医療福祉	2		2
新潟工科	1		1
金沢工業	2	1	3
帝京科学	1		1
山梨学院	1	1	2
佐久	4		4
松本	1		1
松本歯科		1	1
岐阜医療科学	1		1
岐阜聖徳学園	1		1
愛知	1		1
愛知学院	2	2	4
愛知工業	1		1
大同	1		1
中京		2	2
中部	1	1	2
名古屋外国語	1		1
名古屋学芸	1		1
鈴鹿医療科学	1		1
京都先端科学	1	1	2
京都産業	4	2	6

大学名	現役	既卒	合計
京都女子	1		1
同志社	5		5
同志社女子	1		1
立命館	12	10	22
龍谷	3	1	4
大阪保健医療	1		1
関西	1	1	2
近畿	1	3	4
関西学院		2	2
私立大学合計	341	139	480

短期大学（現役のみ）

学校名	合格者
桐朋学園芸術	1
新渡戸文化	1
短期大学合計	2

専門各種学校（現役のみ）

学校名	合格者
諏訪赤十字看護	2
その他	6
専門各種学校合計	8



岡谷市民病院
OKAYA CITY HOSPITAL

医学博士
産婦人科

白川貴士（87 回生）

医学博士
脳神経内科

立花直子（87 回生）

〒394-8512 長野県岡谷市本町 4-11-33 / TEL 0266-23-8000
アクセス 岡谷インターより車で 10 分／岡谷駅よりタクシーで 5 分

電気とともに生きる人と社会に未来を

総合電設業
日栄電気株式会社

代表取締役 堀内 泰治（86 回生）

本社／諏訪市大字豊田 41 番地 3 TEL58-3080（代）
茅野営業所／茅野市ちの 243 番地 3 TEL73-5610
E-Mail info@nichiei-denki.co.jp HP http://www.nichiei-denki.co.jp/

F・gi 産業用機械装置の設計製造
株式会社 F 技術
〒394-0044 岡谷市 湊 4-19-12
Tel 0266-78-0170
Fax 0266-78-0171

内科・小児科・循環器科・消化器科
HANAOKA CLINIC
花岡医院

院長 花岡 淳一（87 回生）

岡谷市天竜町 3-20-28 TEL：0266-22-3525

おかげさまで
2023年
創業 60周年を
迎えます



三恵製作所

代表取締役 今井一喜（87 回生）

岡谷市今井 1553-4（岡谷インター横）
TEL.0266-22-5108 FAX.0266-23-1105

2019年度 諏訪清陵高等学校同窓会 定期総会開催報告

日時 2019年6月29日(土) 13:30～
会場 ホテル紅や(諏訪市)
参加者 338名(102回生以下8名)

日程 役員会 11:30～
総会 13:30～
キーノートスピーチ & “清陵カフェ” 15:00～
懇親会 17:00～

■総会

議長 原支部長 荒木敬悦 / 茅野支部長 北原正信
議事

- 第一号議案 平成30年度 会務報告、決算報告及び監査報告承認の件
第二号議案 2019年度 事業計画(案)ならびに一般会計予算(案)承認の件
第三号議案 母校創立120周年記念事業に関する件(120年史誌作成)
第四号議案 その他(母校連携交流事業について、クラブ活動・自反会後援会について、女性部について)

■キーノートスピーチ & “清陵カフェ”

テーマ 2030年の諏訪を語り合い、デザインしてみよう ～お互いの多様性を楽しみながら～

ファシリテーター 林聡一・武田正利(ともに86回生) スピーカー 細田明・石壁三千穂・清水俊樹・清水直樹(ともに86回生)

平成から令和へ。改元して初めての同窓会総会となった今回、当番幹事86回生は「そもそも同窓会は何のためにあるのか」との原点を改めて問い直すところから始めました。

同窓会の目的が母校や現役生を支援することにあるのはもちろんですが、その場に集う同窓生自身にとっての意味とは何でしょうか。時代の変化を受け、同窓会のあり方そのものが問われ始めた今、改めてその意味を見出すことは必要不可欠です。その答えを、私達86回生は「青臭さ」と「多様性」に求めてみました。

年齢も職業も、経験も社会的立場も異なる多様な同窓生同士が、ただ「清陵同窓生」という要素でつながり、すんなり高校時代に戻り青臭く真剣に議論ができる。同窓会だからこそ、各々が持つ多様な魅力をお互いがもっと知り、違いを認め合い、青臭く話し合うことで新しい時代に向けた何かを生み出すキッカケづくりの場にできるのではないかと。その思いが今回のイベント“清陵カフェ”という企画となりました。

内容は86回生4名が「2030年の世界・日本・諏訪」「地域・文化」「健康・医療」「福祉・介護」といった各分野についてのキーノートスピー

チを行い、それも踏まえながら6～7名のテーブルごとに「2030年の諏訪」について語り合いました。当初はテーブルごとの語り合いがスムーズに進まないのではとの懸念もありましたが、結果的には見知らぬ同窓生同士が熱をもって諏訪の未来について語り合う“カフェ”の場が実現しました。多くの同窓生から終了後に「よかった」「楽しかった」「もっと語り合う時間が欲しかった」という声をいただき、また翌日には、86回生数人の自宅に企画を褒めてくださる電話も頂戴しました。ご理解とご協力をいただき、また積極的にご参加いただきました同窓生の皆様に感謝申し上げます。清陵同窓会が持つ「多様性の力」の一端を感じることができたのではないかと思います。

同時に、今回は「母校連携」の場づくりとして、生徒活動展示ブースを設置しました。来年の当番幹事87回生の多大なるご協力をいただき、まずは一歩を踏み出すことができました。

女性同窓生の増加、若い世代の参加促進等、時代の変化と共に同窓会も変化することが求められています。今回の私達86回生の「挑戦」が、よりよい変化につながれば幸いです。

■懇親会

338名の参加者で盛大に開催することができました。76回生の皆様が学年だよりビデオをお寄せくださり、懇親会に彩を添えていただきました。懸案だった同会場でのイベントからの移行も、比較的スムーズに行うことができました。今回は初めて男女別チケットをなくし

一律5,000円としましたが、問題はなかったものと思います。(参加者の男女別数の把握はできませんでした。)

お忙しい中ご来場頂きました皆様に、当番学年一同感謝いたします。ありがとうございました。



山口会計事務所
YAMAGUCHI Accounting Office

税理士 山口 正雄 (70回生)
税理士 山口 正太郎

〒390-0851
長野県松本市島内 3688-11
TEL: 0263-48-0167
FAX: 0263-48-0253

健康長寿を考える。コミュニティイベントホール誕生!

大坂屋薬局
問屋 全大坂屋薬局
有限会社 大坂屋常太郎商店

無菌調剤室完備 代表取締役 藤森和良 (91回生)

諏訪市清水2-7-22 電話 0266-52-0309(代) FAX 0266-52-0310
薬局 電話 0266-52-7756 FAX 0266-52-7869

2019年度 諏訪清陵高等学校同窓会 会務報告

- 4.4 諏訪清陵高等学校 125 回生入学式
新入生 240 名(女子 119 名) 山崎晃副会長(中村博会長祝辞代読)、岩波寿亮副会長、小尾順子副会長、矢澤博事務局長
新入生に「校歌」CD と「清陵高・附属中」PR ビデオを贈る
- 4.12 着任教職員歓迎会(ぬのはん)
新任職員、山崎晃副会長、小尾順子副会長、矢澤博事務局長
- 4.20 下諏訪支部総会(ぎん月)
三枝是校長、小尾順子副会長
- 4.24 会計監査
鮎沢茂登監事、後町泰昭監事
一般財団法人諏訪清陵会
諏訪清陵同窓会
- 4.28 母校連携事業
北原譲常任幹事、86・87 回生
- 5.11 上伊那支部総会(辰野パークホテル)
三枝是校長、小尾順子副会長、矢澤博事務局長
- 5.20 同窓会報 45 号発送
会報担当 86 回生
- 5.25 (一財) 諏訪清陵会
理事・評議員合同会議
諏訪清陵同窓会常任幹事会・幹事会・懇親会
常任幹事、支部幹事、学年幹事
- 6.22 第 69 回清陵祭
同窓会コーナー設置運営
- 6.29 諏訪清陵同窓会定期総会(ホテル紅や)
2018 年度事業報告・決算報告
2019 年度事業計画・収支予算
同窓会事業について
キーノートスピーチ & “清陵カフェ” 「諏訪の未来」を語り合う
懇親会
清陵祭展示コーナー設置運営
- 8.3 東海支部総会(名古屋キャッスルプラザ)
小口雄策教頭、小尾順子副会長、矢澤博事務局長
- 9.7 松本支部総会(信毎メディアガーデン)
小口雄策教頭、小尾順子副会長、矢澤博事務局長
- 10.6 東京支部総会(アルカディア市ヶ谷)
三枝是校長、中村博会長、小尾順子副会長、矢澤博事務局長

- 10.24 母校湖周マラソン(うしまさ坂支援)
OB 参加多数参加
- 10.26 86・87 回生引継会(仙岳)
矢澤博事務局長
86 回生・87 回生
- 11.6 北信支部総会(ホテル国際 21)
三枝是校長、中村博会長
- 11.9 諏訪支部総会(すわっちゃオ)
三枝是校長、中村博会長、小尾順子副会長、矢澤博事務局長
- 11.16 原支部総会(樅の木荘)
三枝是校長、矢澤博事務局長
- 11.23 物故者慰霊法要(地藏寺)
常任幹事会
- 12.28 母校連携事業打合せ
北原譲常任幹事、86・87 回生

2020 年

- 1.10 うしまさ坂打合せ(高校応接室)
学校・同窓会・清陵会・うしまさ坂保存会
- 1.26 女性部総会(仙岳)
参加者 16 名
- 2.9 茅野支部総会(ローヤル会館)
三枝是校長、中村博会長、小尾順子副会長、矢澤博事務局長
- 2.14 岡谷支部総会(メモリー)
三枝是校長、中村博会長、小尾順子副会長、矢澤博事務局長
- 2.16 富士見支部総会(JA 会館ふじみ)
三枝是校長、小尾順子副会長、矢澤博事務局長
- 2.22 (一財) 諏訪清陵会
理事・評議員合同会議
諏訪清陵同窓会常任幹事会・幹事会・懇親会
常任幹事、支部幹事、学年幹事
- 3.5 諏訪清陵高等学校(123 回生)卒業式
卒業生 235 名(女子 105 名)
卒業記念品贈呈: 印鑑セット
- 3.15 関西支部総会 中止
- 3.23 清陵附属中学校(4 期生)卒業式
卒業生 79 名(女子 40 名)
卒業記念品贈呈: 卒業証書入

2020 年度 諏訪清陵高等学校同窓会 事業計画書(案)

(2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

- 1、母校創立 120 周年記念事業
(1) 母校 120 年史誌作成

2、同窓会定例事業

- [会員交流事業]
(1) 2020 年度定期総会開催 6 月 27 日(土) ホテル紅や
(2) 幹事会開催 5 月・2 月
(3) 清陵同窓会報発行 第 46 号 編集担当 87 回生
(4) 各支部活動促進
(5) 先輩・物故会員慰霊法要 11 月 7 日(土) 地藏寺
(6) 女性部活動支援
(7) ホームページの充実

[母校教育助成事業]

- (1) 母校クラブ活動・自反会助成
クラブ活動・自反会同窓会後援会拡充
会費納入活動強化
母校クラブ後援会会計・自反会会計へ拠出
- (2) 母校連携交流事業
定期交流会開催
- (3) 新入生・卒業生 記念品贈呈
入学: 校歌 CD
卒業: 印鑑
中学生 卒業証書入れ

2019 年度同窓会一般会計決算書

2019年4月1日～2020年3月31日

収入総額 15,579,929 円
支出総額 10,554,125 円
次年度繰越額 5,025,804 円

Ⅰ 収入の部 (単位: 円)				
科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
前年度繰越金	4,219,535	4,219,535	0	2018 年度繰越
入会金	2,400,000	2,310,000	△ 90,000	新入生 231 名
終身会費	4,800,000	4,620,000	△ 180,000	新入生 231 名
クラブ活動・自反会 後援会	4,500,000	4,413,509	△ 86,491	
受取利息	1,000	23	△ 977	
物品販売	15,000	11,362	△ 3,638	
雑収入	5,000	5,500	500	
収入合計	15,940,535	15,579,929	△ 360,606	

Ⅱ 支出の部				
科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
自反会（土曜講座） 助成	2,050,000	2,050,000	0	
クラブ活動助成	2,900,000	2,903,000	△ 3,000	高校 240 万・中学 50 万
その他助成	600,000	346,386	253,614	卒業記念品 20 万、学校 案内・清水ヶ丘 14 万
定期総会費	550,000	193,425	356,575	運営費、資料費、 広告代
支部活動奨励金	600,000	490,000	110,000	支部総会祝儀
女性部活動助成	300,000	300,000	0	女性部活動補助
母校連携交流事業	300,000	25,059	274,941	資料作成
その他事業	20,000	20,000	0	湖周マラソン助成
会報会計繰出金	1,800,000	1,800,000	0	同窓会報発行
会館維持会計繰出金	50,000	50,000	0	清陵会館補修・設 備更新
120 周年記念事業	100,000	100,000	0	120 年史
給料手当	600,000	600,000	0	事務局長給与
会議費	340,000	90,642	249,358	常任幹事会・幹事会
旅費	750,000	634,924	115,076	役員会旅費・事務 局長交通費
事務所費	800,000	950,689	△ 150,689	消耗品、通信、備品、慶 弔、業務委託、HP 維持
予備費	4,180,535	0	4,180,535	
支出合計	15,940,535	10,554,125	5,386,410	

2020 年度同窓会一般会計予算書（案）

2020年4月1日～2021年3月31日

収入総額 16,740,804 円
支出総額 16,740,804 円
収支差引額 0 円

Ⅰ 収入の部 (単位: 円)				
科 目	予算額	2019年度予算額	増 減	備 考
前年度繰越金	5,025,804	4,219,535	806,269	2019 年度決算額見込
入会金	2,400,000	2,400,000	0	新入生 240 名
終身会費	4,800,000	4,800,000	0	新入生 240 名
クラブ活動・自反会 後援会	4,500,000	4,500,000	0	
受取利息	0	1,000	△ 1,000	
物品販売	10,000	15,000	△ 5,000	
雑収入	5,000	5,000	0	
収入合計	16,740,804	15,940,535	800,269	

Ⅱ 支出の部				
科 目	予算額	2019年度予算額	増 減	備 考
自反会（土曜講座） 助成	1,750,000	2,050,000	△ 300,000	高校
クラブ活動助成	2,759,000	2,900,000	△ 141,000	高校・中学
学校運営補助	500,000	0	500,000	運営費
その他助成	600,000	600,000	0	卒業記念品、学校 案内・清水ヶ丘
定期総会費	550,000	550,000	0	運営費、資料費、 広告代
支部活動奨励金	600,000	600,000	0	支部総会祝儀
女性部活動助成	300,000	300,000	0	女性部活動補助
母校連携交流事業	300,000	300,000	0	資料作成・講師派遣
その他事業	30,000	20,000	10,000	湖周マラソン助成・ うしまさ坂助成
会報会計繰出金	1,800,000	1,800,000	0	同窓会報発行
会館維持会計繰出金	50,000	50,000	0	清陵会館補修・設 備更新
120 周年記念事業	0	100,000	△ 100,000	
給料手当	600,000	600,000	0	事務局長給与
会議費	250,000	340,000	△ 90,000	常任幹事会・幹事会
旅費	750,000	750,000	0	役員会旅費・事務 局長交通費
事務所費	900,000	800,000	100,000	消耗品、通信、備品、慶 弔、業務委託、HP 維持
次年度繰越金	5,001,804	4,180,535	821,269	
支出合計	16,740,804	15,940,535	800,269	

公益財団法人 諏訪圏学校理科教育振興基金について

理事長 小口 武男（77 回生）

事業等の報告

当基金（略称「理振」）は諏訪清陵高等学校の理科教育に関する研究を奨励援助し、その振興に寄与することを目的として発足。その後その対象を諏訪地域等の中学校へと広げ、平成 23 年 4 月 1 日「公益財団法人」として認可をうけました。

現在は、諏訪清陵高等学校の理科系クラブへの研究助成、資材助成を行うとともに、諏訪地域の中高一貫校及び中学校（17 校）に対し理科教育等の振興のための助成金の支給を実施しています。また、助成事業の成果は、毎年「理科研究収録」としてまとめ、その足跡を残しております。

昨年度（令和元年度）は助成事業として、高等学校に対し 1,000,000 円、中学校に対し 593,416 円の助成事業を実施いたしました。

尚、平成 26 年度より中学校に対する助成を順番制から応募制に変更し、より積極的な当基金の利用を中学校に働きかけております。

財政基盤強化のお願い

当基金はこれまで幾多の先達から賜った貴重な寄付金を「基本財産」とし、その運用益で運営してまいりました。

昨今の経済状況では、高金利、高利回りは期待できず、「基本財産」の運用益だけでは十分な事業運営が難しくなっております。「基本財産」の運用益により公益事業を継続していく為には、運用財源の「基本財産」を増強することで対応するしか方法はありません。つきましては、同窓生の方々に、「諏訪地方等の理科教育」振興のためご協力をお願いする次第です。公益財団法人の許可を受けたことにより税法上、個人の場合は所得控除、法人の場合は損金算入等の特典があり、寄附をしていただき易くなっております。

詳細につきましては、以下の連絡先までお問い合わせ願います。

【連絡先】

事務局 長野県諏訪清陵高等学校内
TEL 090-3333-3862（理事長：小口武男）、
又は 0266-52-0201（教頭：小口雄策）
FAX 0266-57-2426

2019 年度 諏訪清陵高等学校同窓会 基本財産及び特別会計 決算報告

2019 年度 諏訪清陵高校同窓会基本財産目録

(2020 年 3 月 31 日現在)

(内訳)	定期預金	諏訪信用金庫	20,016,710 円
	同	諏訪信用金庫	10,005,096 円
	同	諏訪信用金庫	3,002,510 円
	同	諏訪信用金庫	1,401,690 円
	同	八十二銀行	5,503,031 円
	同	八十二銀行	2,001,673 円
	同	八十二銀行	5,001,273 円
	※ 合 計 ※		46,931,983 円

2019 年度 遺志金 特別会計報告

(2020 年 3 月 31 日現在)

遺志金特別会計（笠原文武様）	
前期残高	500,000 円
利 息	4 円
ブラッシング指導料	22,550 円
差引残高（2020 年度へ繰越）	477,454 円

2019 年度 同窓会報 特別会計決算報告

(2020 年 3 月 31 日現在)

繰越金	1,194,919 円
繰入金	1,800,000 円（一般会計より）
利 息	12 円
広告収入	920,000 円
支出額	2,528,646 円（印刷費・発送費）
差引残高	1,386,285 円（2020 年度へ繰越）

2019 年度 会館維持 特別会計決算報告

(2020 年 3 月 31 日現在)

繰越金	1,269,232 円
繰入金	50,000 円（一般会計より）
利 息	12 円
支出額	0 円
差引残高	1,319,244 円（2020 年度へ繰越）

地域の皆様の健康のために

地元の 87 回生薬局

あおぞら薬局 河西 宏高

諏訪市湯の脇 2-6-14
電話 0266-54-5151 FAX 0266-54-5151

わかば薬局 松木 勝一

茅野市玉川 4174-1
電話 0266-82-4108 FAX 0266-82-4107

さくら藤沢薬局 藤澤 信哉

富士見町落合 9984-1025
電話 0266-61-1815 FAX 0266-61-1815



あるがクリニック 泌尿器科・内科・腎臓内科

日本泌尿器科学会 専門医・指導医
日本腎臓学会 専門医
日本透析医学会 専門医

院長
医学博士 有賀 誠司 (87 回生)

〒392-0002
長野県諏訪市湯の脇 2-6-3
Tel 0266-78-1235 Fax 0266-78-1236
http://aruga-clinic.com

内科・小児科・胃腸科
在宅医療・訪問診療・往診

まつもと
医療法人 松本医院

院長 松本 宙明 (88 回生)

〒392-0007 長野県諏訪市清水 2-4-12 TEL.0266-52-3247

地区支部だより

	関西支部	東海支部	東京支部	松本支部	上伊那支部	北信支部
支部役員	支部長：土橋勝 (64 回) 副支部長：今井文人 (52 回)、小林悟郎 (56 回)、山田正幸 (59 回)、岡田敏史 (63 回)、小池千代枝 (64 回) 女性部会 会長 (兼任) 監事：篠原明彦 (69 回)、北原幸一 (70 回) 相談役：小坂祥造 (63 回) 顧問：吉澤啓介 (57 回) 事務局長・会計：花岡正 (69 回) 事務局：神戸正幸 (66 回) 幹事：小松文吉 (56 回)、松木本興 (61 回)、竹中由幸 (63 回)、鈴木勝 (64 回)、神戸正幸 (66 回)、藤森廣幸 (70 回)、植松高志 (72 回)、名取和一 (75 回)、関聖 (83 回)、間部陽一 (83 回)、西出あすか (94 回)、藤森賢也 (94 回) 任期 2021 年総会当日まで	支部長：今井安榮 (67 回) 副支部長：佐々木忠男 (64 回)、塚平均 (69 回) 会計監査：細田正昭 (65 回) 事務局長：矢澤弘司 (81 回) 事務局次長：濱隆二 (73 回)、今井啓雄 (89 回) 事務局次長・女性部長 (兼任) 敦賀不二佳 (89 回)	支部長・会長：原大 (73 回) 副支部長・副会長：守矢早苗 (67 回)、功刀正行 (69 回) 会計幹事：小海健治 (84 回) 監査幹事：有賀朝彦 (63 回)、青木基浩 (82 回) 事務局長：北原謙 (82 回) 事務局次長：小林正和 (73 回)、有賀一温 (75 回)、関屋孝行 (76 回)、米澤あ子 (80 回)、矢崎理恵 (81 回)、岡本徹 (83 回)、赤羽俊昭 (84 回)、清水信次 (84 回)、佐藤美智子 (88 回)、荒木健太郎 (99 回) 10 月総会承認予定	支部長：小林治雄 (65 回) 副支部長：堀川精一 (69 回)、矢崎幹明 (71 回) 幹事長 (兼任) 女性部長：北原薫 (86 回) 会計：土屋公男 (72 回) 監事：野口義輝 (69 回) 常任幹事：藤森諄二 (64 回)、山田巻義 (64 回)、山本建夫 (64 回)、藤森邦秀 (65 回)、小松喬 (68 回)、竹内達也 (74 回)、横沢達郎 (76 回)、守屋郁夫 (82 回)	支部長：加島範久 (70 回) 副会長：林靖 (62 回) 幹事長：赤羽博 (78 回) 会計：福島正寿 (80 回) 事務局：加藤恒男 (86 回)	支部長：岩本弘 (65 回) 副支部長：花岡佳市 (71 回)、赤羽昭彦 (76 回)、畑谷広治 (79 回)、小林豊茂 (84 回) 支部幹事：今井洋二 (85 回)
事務局連絡先	〒 562-0025 箕面市栗生外院 1-17-1-1311 TEL：072-727-3616 Email：hanaoka1311@yahoo.co.jp	〒 482-0034 岩倉市石仏町市ノ坪 19 番地ラ・グランデールセルビエ 603 号 TEL：090-6642-3445 Email：hisi19y@docomo.ne.jp	TEL：080-3939-0266 Email：tokyoseiryokai2017@gmail.com	TEL：090-5191-0333 FAX：0263-88-3082 Email：mofrei-yaz@outlook.jp	〒 399-0422 辰野町 平出 1951-2 加藤恒男 (勤務先 辰野町役場 総務課長 0266-41-1111) TEL：0266-79-4019 FAX：0266-79-4019 Email：qqvw8ux9k@lime.ocn.ne.jp	〒 380-0905 長野市鶴賀七瀬南部 519-1-210 今井洋二 TEL：090-8946-0217 Email：y-i m a i @naganoken-culture.co.jp
直近の支部総会	平成 31 年 3 月 17 日 第 22 回総会 場所：大阪第一ホテル 出席者：42 名 (来賓 7 名、会員 35 名) 本部 矢澤博事務局長 学校 西沢宏校長 内容： 講演会：「糖質制限と健康寿命」 講師 藤森 廣幸 (70 回) 総会：議題(1)平成 30 年度活動・決算報告 (2)平成 31 年度活動計画・予算 懇親会・福引	令和元年 8 月 3 日 場所：キャッスルプラザ (名古屋市) 出席者：23 名 内容： 1. 特別講演：「化学工場で働いて」講師：武井芳彦氏 (88 回) 2. 来賓挨拶：小尾副会長、矢澤事務局長、小口教頭 3. 会計報告及び支部議案審議 4. 懇親会：女性会員 2 人目の会員杉本さんを含め 23 人で懇親会を開催、諏訪から 89 年生応援として来て頂いた小平さんのデザインした紙芝居で大いに盛りあがる。	令和元年 10 月 6 日 場所：アルカディア市ヶ谷 出席者：192 名 内容： 総会：会務報告、事業計画、会計報告、予算、監査報告 清陵カフェ @ 東京、スピーカー：細田明・加藤正治・降幡浩康・林一浩、進行：林聡一・武田正利 (86 回) 懇親会：会長、来賓 (三枝校長、中村同窓会長、小尾副会長、矢澤事務局長) 挨拶、鏡割、校歌斉唱、万歳三唱	令和元年 9 月 7 日 場所：信毎メディアガーデン 3 階、スタジオ & 松本テラス 出席者：28 名 内容： 議題 事業・会計報告、監査報告、新年度事業計画・会計予算案 支部規約の一部改正、女性部長ポスト新設 小尾女性部部長からの活動報告	令和 2 年度支部総会は、4 月開催予定も、コロナウイルスにより延期、令和 2 年 7 月 11 日予定も現状では開催不能 (未定)	令和元年 11 月 6 日 場所：ホテル国際 21 (長野市) 出席者：48 人 内容：総会では中村博同窓会長、三枝は校長を来賓として迎え、2018 年度の支部活動報告・会計報告。懇親会では旧制諏訪中学校・諏訪清陵高等学校 創立 120 周年記念ビデオ「清陵<知の伝統>をつむいで 120 年」を上映、校歌斉唱や総会幹事の引き継ぎなどを行った (長野県庁から八十二銀行へ)。
前年度活動	ゴルフ部会 第 42 回令和元年 5 月 30 日～31 日 城陽カントリー 参加者 6 名 第 43 回令和元年 12 月 18 日 山の原ゴルフクラブ (恋里コース) 参加者 4 名 歩こう部会 令和元年 5 月 18 日 京都北山の鞍馬から貴船を歩く 参加者 8 名 令和元年 12 月 8 日 晩秋の京都 清滝から保津峡を巡る 参加者 15 名 女性部会 令和元年 12 月 1 日 参加者 6 名 接方東 京都駅ビル店 広報部会 令和 2 年 1 月 31 日 第 29 号会報発行 (送付数 225 名) 支部役員会 令和元年 9 月 29 日 18:00～20:00 大阪第一ホテル	令和元年 10 月 31 日：支部幹事会 (今後の活動方針について) 令和元年 12 月 7 日：支部幹事会 (来年度の講師について及び活動計画) 令和 2 年 4 月 4 日：支部幹事会 (本部常任幹事会報告及び今後の活動と女性部研修旅行について) 令和 2 年 6 月支部幹事会開催予定	東京清陵会だより 30 号の発行、ゴルフ会の開催、清陵勉強会 (隔月偶数月) の開催、事務局会議、常任幹事会、学年幹事会の開催、第 5 回働くことを考える若手の会開催 (11 月・出席人数 15 人)、第 3 回女子会、清陵本部同窓会、東京同窓連、南信同窓連会議・行事への参加、委員会制度の稼働 (活性化 WG 第二フェイズ)、母校連携：附属中学東京研修旅行職場見学受入れ (4 年目)、高校キャリア教育講座に講師派遣 (3 年目)、運営要領の作成準備、HP の再稼働：http://www.tokyoseiryokai.jp/	総会で母校に「梶の木」贈呈を決議したが、その後の調査で 4 本実在が確認されたので見送った。 令和元年 10 月以降の台風災害・2 年度に入っている新型コロナ騒ぎで、事業計画などを策定する役員会の開催メドが立っていない。	令和元年 12 月 26 日 役員会 支部活動について 令和 2 年 2 月 25 日 役員会 総会について	令和元年 9 月 26 日 支部役員会 (11 月の支部総会の打ち合わせ)
今年度の計画	令和 2 年 3 月 15 日 第 23 回総会 新型コロナウイルス対応で中止 議案書はメール会議で承認 部会構成と活動計画 ゴルフ部会 春は、令和 2 年 5 月 31 日～6 月 1 日 1 泊 橋本市紀見荘 翌日、橋本カントリークラブ予定 秋は、山の原カントリーの予定 歩こう部会 春、秋 2 回開催予定 春は、「春の大和 海柗榴市 (つばいち) から大神神社を歩く」5 月頃を予定 秋は、計画 カルチャー部会 行事は計画 広報部会 会報は年 1 回発行する 女子部会 行事は計画 支部役員会 必要に応じて開催する	令和 2 年 8 月 納涼会 令和 3 年 4 月 支部総会	東京清陵会だより 31 号の発行、第 54 回総会・懇親会の開催 (10 月 4 日アルカディア市ヶ谷)、清陵勉強会の開催、ゴルフ会の開催、ミドル交流会の開催 (第 7 回検討中・第 8 回 3 月)、第 7 回新春歓迎 / 学生交流会の開催 (検討中)、第 6 回働くことを考える若手の会開催 (11 月)、第 4 回女子会の開催、会員情報管理の高度化効率化推進、ホームページ活用拡充、facebook など SNS 活用による広報活動の充実、母校連携：附属中学東京研修旅行職場見学受入れ (5 年目)、高校キャリア教育講座に講師派遣 (4 年目)	定期総会 10 月 24 日 ビレネ倶楽部を予定するも確定できない。 その他事業は諸般情勢から実施予定なし。		北信支部役員会 時期未定 北信支部総会 時期未定

	原支部	富士見支部	茅野支部	諏訪支部	下諏訪支部	岡谷支部
支部役員	支部長・会長：荒木敬悦 (72 回) 副支部長・副会長：藤原光郎 (75 回)、小林千展 (79 回) 顧問：小林貢三郎 (52 回)、清水澄 (57 回)、堀内元長 (62 回)、荒木桂男 (63 回) 会計監査：小平恒夫 (71 回)、小林明仁 (71 回)	支部長・会長：飯田幹夫 (69 回) 副支部長・副会長：平出善一 (72 回)、五味公守 (74 回) 事務局長：川合弘人 (76 回) 女性部事務局：斉藤真澄 (78 回)	支部長：田村義明 (70 回) 副支部長：宮坂和生 (73 回) 事務局長：北沢政英 (84 回)	支部長：小泉和彦 (74 回) 副支部長：宮坂潤一 (76 回) 事務局長：久保田俊正 (74 回) 広報局長：藤森孝真 (74 回) 会計：山岸尚志 (75 回) 女性部長：小口理子 (84 回)	支部長：林元夫 (73 回) 副支部長：山田孝實 (72 回)、濱克典 (74 回) 女性部長：井上喜久美 (80 回) 事務局：野村光夫 (75 回)	支部長：小口憲司 (69 回) 副支部長：宮坂好史 (75 回)、河西一彦 (79 回)、今村祐子 (84 回)
事務局連絡先	〒 391-0106 諏訪郡原村 10115-2 TEL：0266-79-4019 FAX：0266-79-4019 Email：qqvw8ux9k@lime.ocn.ne.jp	〒 399-0211 富士見町富士見 8400-74 TEL：090-2336-2705 0266-62-2774 FAX：0266-78-1230 Email：kawai@po5.lcv.ne.jp	〒 391-0301 茅野市北山 6740-1 TEL：090-9665-3256 Email：luckykit@po29.lcv.ne.jp	〒 392-0015 諏訪市中洲 702-5 TEL：0266-52-8760 FAX：0266-52-8760 Email：kubota@rose.ocn.ne.jp	〒 393-0003 下諏訪町萩倉 2620-5 野村光夫 TEL：0266-28-4381 FAX：0266-28-4381 Email：mnomu210@yahoo.co.jp	〒 394-8611 岡谷市郷田 2-1-8 諏訪信用金庫内 TEL：0266-23-4567 FAX：0266-24-4055 Email：jinji@suwashinkin.jp
直近の支部総会	令和 1 年 11 月 16 日 場所：梶ノ木荘 出席者：16 名 内容：矢澤事務局長、三枝校長先生をお招きして原支部総会を開催しました。 また、講演会は宮坂嘉幸 (51 回) の「古文書から見た原村」でした。	令和 2 年 2 月 16 日 場所：JA 会館ふじみ 出席者：40 名 内容：富士見支部長兼富士見岳陵会長挨拶 来賓挨拶(1)矢澤博同窓会事務局長(2)三枝是学校長 議題(1)平成 31 年度事業報告、同会計報告(2)女性部事務局員選任の件 全議案全会一致で承認 講演会 演題「カゴメ野菜生活ファームふじみ」が目指すカゴメのファン、富士見町のファンづくり 講師 カゴメ野菜生活ファーム(株)代表取締役社長 河津佳子氏 懇親会、熟待、自己紹介、校歌 (第一、第二校歌を通して斉唱)	令和 2 年 2 月 9 日(日) 場所：マリオローヤル会館 出席者：100 名 内容：本校同窓会挨拶及び会務報告：中村同窓会長 学校からの近況報告：三枝校長 講演：「松本山雅とは」講師：前(株)ジャパンディスプレイ代表取締役社長 デロイトトーマツフィナンシャルアドバイザー 合同会社 シニアアドバイザー 松本山雅 FC 取締役 有賀修二 (80 回) 懇親会	令和元年 11 月 9 日 場所：すわっチャオ (駅前アーケ 諏訪 3F) 出席者：122 名 内容： 当番幹事 87 回生 / サブ幹事 88 回生 開会 / 熟待 / 小泉和彦支部長挨拶 来賓お言葉 中村博同窓会長 / 三枝是学校長 議事 会務 / 会計 / 監査各報告 / 一括承認 講演パネルディスカッション「諏訪から提案する全世代型コミュニティ “Crowd F” とは？」(87 回生) パネリスト 宮坂佐知子 スペースイン代表取締役バウハウス SUWA 代表 立花直子 岡谷市民病院神経内科部長医学博士 木口浩史 セイコーエプソン技術開発本部副本部長 ファシリテータ 北澤聖 日鉄ソリューションズ IT インフラソリューション事業本部長 懇親会 18:00～19:30	令和 2 年 4 月予定を中止 TEL：0266-28-4381 FAX：0266-28-4381 Email：mnomu210@yahoo.co.jp	令和 2 年 2 月 14 日 場所：メモリー 支部総会参加者 82 名 (内来賓 4 名 三枝 学校長・中村同窓会長、矢澤同窓会事務局長、小尾同窓会女性部長) 内容： 支部長挨拶、来賓祝辞、女性部活動報告 議案審議 平成 31 年度事業報告・会計報告、役員改選 (副支部長 丸山剛・竹村文男 退任、副支部長 河西一彦・今村祐子 就任⇒承認) 報告事項 (当番幹事 87 回生より全体総会についての内容報告及び協力要請) 講演会：宮坂正博 (70 回) (諏訪総合設計(株)代表) による「三苦からバルナバまで」と題した講演会を実施 懇親会：鮎沢茂登先輩 (59 回) の乾杯発声で幕を開けた懇親会は、世代を超えた交流が図られ、最後に 87 回生の音頭による校歌斉唱を行い、山田宣元先輩 (59 回) の発声による万歳で幕を閉じました。
前年度活動	令和元年 7 月 2 日：長野日報に「めざせ甲子園諏訪清陵高校」の広告掲載 令和元年 7 月 20 日：本会女性部のイベント「縄文人に会いに行こう」に参加 (2 名出席) 令和元年 12 月 26 日：三役会開催 (4 名出席) 令和 2 年 1 月 19 日：富士見支部富士見岳陵会報発行 令和 2 年 1 月 19 日：岳陵会地区役員会開催 (17 名出席) 令和 2 年 2 月 26 日：富士見支部定期総会開催 (40 名出席)	令和元年 7 月 2 日：長野日報に「めざせ甲子園諏訪清陵高校」の広告掲載 令和元年 7 月 20 日：本会女性部のイベント「縄文人に会いに行こう」に参加 (2 名出席) 令和元年 12 月 26 日：三役会開催 (4 名出席) 令和 2 年 1 月 19 日：富士見支部富士見岳陵会報発行 令和 2 年 1 月 19 日：岳陵会地区役員会開催 (17 名出席) 令和 2 年 2 月 26 日：富士見支部定期総会開催 (40 名出席)	令和元年 11 月 27 日：支部幹事会 (支部総会について) 令和 2 年 1 月 10 日：支部幹事会 (支部総会について) 令和 2 年 2 月 9 日：支部総会開催 令和 2 年 5 月 (予定)：支部幹事宛本部総会の通知及び出席取りまとめの依頼	2019 年度役員会 (支部役員 / 地区長 / 学年幹事) 平成 31 年 4 月 5 日間計画ほか 5 月 31 日、9 月 13 日、10 月 11 日支部総会にむけて ほか 支部総会 令和元年 11 月 9 日 (昨年までと会場変更不行)	令和元年 8 月 31 日 会場オルフェウス 16 名参加 ミニ講演会「定年後に経験した開発途上国支援」茅野勝彦 (69 回) 役員・幹事会 令和 2 年 3 月 27 日 支部総会について中止を決定 令和元年度事業報告・決算報告・次期役員・事業計画について審議し承認	正副支部長会議： 令和元年 12 月 17 日 11:30～ 支部役員会： 令和 2 月 1 日 24 日 18:30～「美好」
今年度の計画	令和 2 年度原支部総会を 11 月 21 日に梶の木荘で開催しますので、多くの方のご参加をお願いします。 原村出身者で村外にお住まいの方や、村外出身で原村に居住の方も大歓迎します。	富士見支部 (富士見岳陵会) 三役会、地区役員会、定期総会、講演会 の発行 支部会員物語者叩問	令和 2 年 11 月：支部幹事会 (支部総会について) 令和 3 年 1 月：支部幹事会 (支部総会について) 令和 3 年 2 月：支部総会開催 令和 3 年 5 月：支部幹事宛本部総会の通知及び出席取りまとめの依頼	2020 年度予定 (未確定 / 本年は特に変動可能性あり) 役員会 (支部役員 / 地区長 / 学年幹事) 令和 2 年 4 月 24 日間計画ほか 6 月 5 日、9 月 4 日、10 月 2 日 支部総会にむけて 支部総会 令和 2 年 11 月 7 日 (担当学年幹事 88 回生) ※他支部からの講演会 / 懇親会参加大歓迎	令和 2 年 8 月 納涼会 令和 3 年 4 月 支部総会	今後も若い世代を中心に声かけを行い参加者の増加を図ります。 今年の支部総会には昨年より 2 名多い 8 名の女性会員の参加がありました。 事務局 藤森正樹 (86 回)

学年会短信

<49 回生>

本年は卒業第一期生として卒寿を迎えることになりました。昭和18年諏訪中学校に入学し、5年後に諏訪清陵高校3年生に編入学し、翌年卒業しました。私達学年は中学校時代の多くの期間、数々の勤労奉仕（農作業の支援、地下壕掘り、白樺湖の堤防工事等々）の作業、そして予科訓練生、幼年学校等に志願して尊い時間をついやして来ました。

敗戦後は教室に戻って遅れた学業に取り組み、24年3月に清水ヶ丘を巣立って各地に散在しました。結果的には同級生の半数近い人々が関東地域に住んでいることから“東京一八会”（49回生の集い）を結成して年一回（5月18日）は一堂に会し親睦を図って参りました。数えれば主に東京新橋近くの特定場所で実績回数は63回になりました。（諏訪一八回、岳南一八回の同期会は休会中）

今年度は49回生の多くは満90歳で卒寿を迎える年齢でありますので親睦の場を改めて諏訪神社（新宿）で行うよう計画中です。今は亡き130余名の物故者の追悼の祈りを捧げます。

（東京一八回幹事 折井秀彦・上原秀秋・小池光磨・名取章）

<50 回生>

互助会は昨年4月30日（平成最後の日）をもって解散いたしました。昭和49年「互助会」の命名以来半世紀余、かざした鉄槌は幾度か。
・記念文集「互助の旅」(H6)・古稀修学旅行 箱根 (H13)・卒業60周年記念作品展（平22）・互助会ファイナル（H31）等々。様々の思い出が甦りますが、これからも互助の心は不変です。

今後も「三々五々」の集まり、「干、の互助通信」など「4649」なお例年の「50回生の集い」本年は未定、延期、中止
昨年ファイナルの出席者12名 秋山・伊藤（博）・荻原・唐沢・小泉・小平・白川・竹村・浜（邦）平林・藤森・（吉）松原 定番のカラオケは4名。 373 長い間有難う、お元気で！

（50回生学年幹事 竹村一司）

<51 回生>

前任の幹事が他界した後、幹事が空席となっていたが我ら五一会は健全である。空白の部分を補填し、今日に繋げて51回の現状をお伝えしたい。

我ら五一会員は今を遡ること75年前、昭和20年（1945）4月、諏訪中学校の門をくぐった。あの太平洋戦争が終結する5か月前の入学である。戦禍混乱の中、学制改革が施行され、一転して軍国主義教育から民主主義教育へと変わった。我らは諏訪中学校から併設中学へ、それから清陵高校へと6年間を清水が丘の校舎で学んだ。戦後の食糧難、敗残と化した廃墟のなかから立ち上がった苦難の6年間。それだけに清水が丘で過ごした我々五一会員の結束力、団結力は強い絆で結ばれている。

昨年は平成から令和に跨がって時代の転換期を迎えた1年であった。五一会では平成を締めくくる最後の同期会を4月25日諏訪で

開催した。昭和・平成を生き、各自己が人生を全とうしつつも物故者となってしまった同期生の法要を地蔵寺に於いて執り行い故人の冥福を祈り、場所を仙岳に移し、友好を温め再会を喜び合った。参加者は30数名。卒業以来という同期生もあり、往時を偲び話題は尽きる事なく盛会であった。五一会の特徴は同伴者歓迎という不文律のもと毎回行われており、同期生の中には第1回女子入学（昭和25年、56回生）と縁あってカップルになった幾組かがペアを組んで参加するという和やかさもある。況んや他の参加者においても同伴大歓迎である。

秋は年号改まり、令和元年11月8日、東京市ヶ谷のグランドヒルで開催、旧交を温め合った。

今年2020年（令和2）は諏訪での開催が予定されている。我ら88歳。米寿を迎える。意義ある五一会にしたいと願うこと切である。
（51回生学年幹事 平島佐一）

<52 回生・55 回生>（双樹会）

我々同期の仲間は、東京・諏訪それぞれに例会を設けて続けていますが、昨年たまには東京・諏訪の交流会をやったかどうか、という声が出ました。どんな会にしようかと例によっていろいろな意見が出ましたが、組織立った動きは無理かと、事を構えることなく、希望者が各自申し込んで自主参加することになりました。その結果4月16日の東京花見の会へは諏訪から2名が参加、そして7月7日の諏訪月例7日会には東京から5名が参加しました。

東京恒例の「お花見の会」は高尾駅に程近い桜実験林、多摩森林科学園の桜並木を散策し、そのあと常宿の「清流亭」で懇親会をするというもので諏訪からの2名を含め13名が集いました。観桜コースは小高い山を巡るもので一寸した山岳コース、健脚組が約1時間元氣一杯の歩きぶりを見せてくれました。懇親会は皆多弁に談笑しめずらしく校歌が出るなど、賑やかに盛り上がりました。

東京秋の例会「高尾山軽登山の会」(時間をかけてのゆっくり歩き、あと清流亭で慰労会)は、諏訪からの参加はなく、東京の常連で実施。東京月例の「扇寿司の会」は会場の都合で目下休会中再開待ちとのこと。

7月7日諏訪の月例「7日会」は東京から5名が来諏して合流18名の交流会になりました。分かっている範囲でまとめた双樹会物故会員150名の名簿を見てもらった後、物故会員物故恩師の冥福を祈って黙祷をし、懇親会に入りました。久しぶりの再会に談論風発痛飲し、声高の談笑が絶えず、いつもの7日会の時間をはるかにこえての盛会でした。

東京「扇寿司の会」の復活を願いながら、それぞれの例会がお互い元氣をやったり、もらったりできる会所として続けられることを願いたいものです。

清陵恒例の湖周マラソン、昨年はOB会の最年長ながら白川太一君が参加、健在ぶりを見せてくれました。しかし、「今年が最後の走りかもしれない」とのこと。途中リタイヤは本意ではないはずの彼にとっては、残念ながら相応の判断なのかと思ったりもしたとこ

ろです。昭和から平成にかけ、東京から一泊して参加休むことなく走り続け完走を重ねた彼の頑張り、と共に走って支え合った清水純君達良き仲間の頑張りを改めて称えたいと思います。

（52回生学年幹事 千葉春男）

<59 回生>

私は清陵という学校に興味ありで関係した催し、会合に随所に顔を出していますが東京における2月一回あての清陵勉強会、東京における年一回の59回生会、毎年諏訪における同窓会、諏訪での59回生の3月一回あての会合等々であります。特に勉強会は毎回30人位参加60歳過ぎの年寄りの参加が目立ち何歳になっても向学心が強い同窓生に感心しています。それぞれの世話人、幹事さんの熱意には感心しています。

59回生といえども80歳を過ぎていますが今だに黙々と我が道を歩んでいる仲間には感心します。作曲家の竹内邦光くんは2016年11月ベルギーの国際現代音楽祭で武満徹さんと並んで「古謡」という作品が取り上げられました。今や世界の竹内です。画家の高橋靖夫くんは国画会の会員、東京女子美大の名誉教授として日本の第一線にいます。中島伸一くんはスポーツで長年県内外のボート競艇の貢献で平成19年11月3日に旭日雙光章を受賞しました。

不肖私は1956年清陵から現エプソン入社1961年諏訪響入団以来後に社長となった中村恒也さん指揮者の小澤征爾さん渡邊暁雄さんらと出会いセイジ・オザワ松本フェスティバル、北欧音楽祭すわ等音楽祭を立ち上げたことが国に注目され地域文化功労者として昨年11月26日文部科学大臣賞を受賞することが出来ました。

59回生は変わり者の集まりと云われてもこれらはもともと清陵清水ヶ丘精神千万人といえども我ゆかんの精神を貫いてきたお陰で同窓のみなさんの常日頃のご支援厚く感謝する次第です。

（59回生 武井勇二）

<62 回生>

「清陵巣立ち 50年記念総会」を諏訪で行ったのが平成21年11月3日。当時69歳。それから11年を経て“傘寿”を越えた。62回生東京同級会は着実に開催されてきているが、久々に「同年会を諏訪で」という声が大きく、諏訪地区の有志が中心に検討している。

新型コロナの感染拡大が懸念され開催期日は未定だが、9～10月頃にどうか慎重に検討している。明確になり次第全員にお知らせしたいので、しばしお待ちいただきたい。再会を楽しみに！

（62回生学年幹事 濱弘章）

<64 回生>（ザザムシ会）

昭和33年入学64回生の別名ザザムシ会は昨年6月19日に喜寿を祈念して諏訪湖ホテルで総会を開催した。古希の集まりから待ちきれなく中間の74歳でも開催した。

当日は14：30から中高一貫校に成った母校の見学をした。参加者は38名である。五万節ではないが清陵出てから約60年、当時の面影は無くすっかり変わった。

ホテルで夕方五時くらいから物故者への黙とう後宴会に入る。約

70人強の参加者で有った。60年前の思い出話に話が弾む。高校3年の時我々は60年安保を経験した話、学友会館焼失の話等当時を懐かしむ。さらに喜寿でもあるから体調の話、孫の話等話題が進む。

更に古希祈念誌に続く喜寿記念誌約340ページを今回も作成した。寄稿者は69名、150冊配布した。尚、母校にも置かせてもらった。次回傘寿（80歳）記念を開くので其処まで元気でと宴を閉めた。我々ザザムシ会は諏訪本部、東京、関西、東海他支部を作り夫々旧交を温めている。

特に東京ザザムシ会は毎月池袋の居酒屋で開催しており、私も関東方面出張の時に参加している。約2時間自分の専門とした分野の講演後2時間会食懇談を行っている。

また秋の文化祭、春のバーベキュー会、ゴルフ会、山登り他元氣に行っているようです。

諏訪本部は3月19日約20人位集まって会食懇談をしました。

（64回生学年幹事 山崎晃）

<65 回生>

1、記念誌の発行について

東京地区での「65回生東京同年会」では、気楽な文集「記念誌」を6月に発刊予定です。既に本格的な卒業50周年記念誌「巣立ち」があるので、今回は自由な寄稿文のみです。クラス担任（英語）の渡邊壽郎先生から特別寄稿を頂いております。先生の著作に、『書く』の最初の意味は何だったのでしょうか。それは「搔く」です。「爪を立て表面をひっかく」ことでした。人々は印を木片に刻みつけたのです。英語でも write の最初の意味は scratch で、「爪などで傷をつける」ことでした。「書く」とは、結局、人々がその痕跡を残そうとする懸命の努力だったのです。』とあります。今回の記念誌で私たちはどんな「搔き」方を刻んでいるのでしょうか。

購入希望の場合は下記まで
（65回生東京同年会 野口雄一 0467-85-6459）

2、同年会について

恒例の同年会は、例年どおり秋に開催予定です。
開催日時・場所等の詳細については、当番幹事の3部と4部で検討中です。

夏頃には連絡しますので、多数の参加をお待ちしています。

3、「八日会」について

諏訪地域在住の65回生有志が集まっての飲み会である「八日会」は、引き続き実施しています。毎月8日の午後6時30分から上諏訪駅前の「いずみ屋」で固定開催していますので、気軽に参加してください。諏訪地域在住者以外でも諏訪へ来た際にはぜひ顔を出してください。

（65回生学年幹事 青木成雄 0266-53-0072）

<69 回生>（無垢の会）

新型コロナウイルスが全世界・日本で蔓延する中『皆さん集まって、大いに飲んで、大いに語ろう！』なんて今年は言えません。状況を見ながら行いたいと思います。



無限の可能性に向かって【現在進行形】です。

株式会社 イングスシナノ

〒393-0042 長野県諏訪郡下諏訪町北四王 5415
TEL0266-27-8851 FAX0266-28-0112
URL <https://www.ings-s.co.jp>

イングスシナノ 



日本の伝統食品「味噌」専門卸

山永味噌株式会社

取締役会長 矢崎清太郎 (60回生)
代表取締役社長 矢崎 裕夫 (87回生)
監査役 矢崎 豊国 (59回生)
(公認会計士)

〒333-0842 埼玉県川口市前川2丁目32-16
TEL. 048-268-3339 FAX. 048-268-3391
～創業の地・長野県茅野市塚原～



特定医療法人

新生病院

整形外科（統括医長） 宮澤 隆志 (87回生)

長野県上高井郡小布施町小布施 851
026-247-2033 <http://www.newlife.or.jp/>

下記の行事の詳細は、メール・はがき等で通知します。

- ① 大懇親会・宿泊
日時【予定】10月中旬～下旬
場所【予定】諏訪湖畔のホテル・旅館
担当 矢澤博 (090-3312-1469) hiro.yaza.8974@gmail.com
- ② 親睦ゴルフ
85歳まで、120回開催に向けて皆で健康で頑張りましょう。
第77回：4月22日（水）／第78回：6月24日（水）／
第79回：9月2日（水）／第80回：11月11日（水）
会場 フォレストカントリークラブ三井の森
担当 小口憲司 (090-3063-5871) okenji1107@softbank.ne.jp
- ③ 「大久保邸」第六回夏の集い（ホームパーティー）
日時 8月10日（月）午後6時より
場所 茅野市官川「大久保智弘」邸
担当 大久保智弘 (090-8301-7172) tomohiro.okubo823@gmail.com
担当 岩波寿亮 (090-4010-4644) iwanami@suwatec.co.jp
- ④ 東京支部総会終了後の懇親会
日時 10月4日（日）午後5時より
場所 未定（別途連絡します）
担当 比田井昌英 (090-2545-7038) masahide.takahidai@gmail.com
- ⑤ 女子会 皆が集まりやすい曜日と場所を選定し幹事から連絡します。
担当 比田井和子 (090-3335-5720) kazukoh@gb3.so-net.ne.jp (69回生学年幹事 矢澤博)

<71 回生>

同期の仲間が全て古希を迎えました。同窓会総会の当番幹事を務めて以来、15年にわたり毎年学年懇親会・親睦ゴルフ大会（年2回）を開催してきました。

今年も6月27日に春の親睦ゴルフ、懇親会を開催する予定です。開催の詳細は、いつものように71回生メーリングリスト（百数十名が参加）に掲載します。

メーリングリスト未登録の方は、この機会に登録しませんか？同期生が自由に情報発信、意見交換する「71回生の場」です。学年幹事の洪江までメールまたは電話を下さい。

各種担当幹事の連絡先は次の通りです。

◎学年幹事・懇親会担当 洪江利明（4部）

電話：090-4751-9642

メールアドレス：shibue@shibue-seimitsu.co.jp

◎親睦ゴルフ担当幹事 小池孝博（4部）

電話：0266-73-5892

メールアドレス：koiketakahiro@world.ocn.ne.jp

【追伸 5月6日時点】

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が5月末まで延長されま

した。上記計画の可否については、今後の状況を見ながら逐次メーリングリストに掲載します。

（71回生学年幹事 洪江利明）

<73 回生>

われわれ「なみの会」は2019年度（令和元年度）が清陵卒業から50年。この節目に文集づくりを企画した。73回生273人のうち連絡の取れる230人に呼びかけ、製作委員会（松木敏博委員長、河西朝雄編集長）の予想を超える103人の寄稿で記念誌「清水ヶ丘から」（A4判、190ページ）が出来上がった。昨年7月6日に上諏訪温泉「ぬのはん」へ98人が駆けつけた「集い」で配布。68歳になる年齢ならではの味わい深い記述が多く、新聞4紙で好意的に報道された。第Ⅰ部「清陵と私」を軸に、自由テーマの第Ⅱ部「50年後の談話会」、さらに資料編の第Ⅲ部と角度をつけた。巻末の名簿に各自の出身中学校名を付記したのは、2013年（平成25年）3月で解散となった往年の地方会活動を惜しみ、記憶にとどめる意図を込めた。ちなみに、出身中学校の上位ランクは、①上諏訪中（34人）②下諏訪中（33人）③辰野中（22人）④岡谷南部中、永明中（ともに21人）⑥諏訪中、岡谷北部中（ともに20人）。

6月の同窓会本部総会・懇親会の2次会で予定していた今年の同期会は中止を余儀なくされたが、来年は10月をメドに「古希の集い」を催す計画を立てている。

（なみの会事務局長 山田雄一）

<77 回生>

77回同期会 学友諸兄姉の皆様へ。

世界的な感染症の影響が甚大ですが、皆様におかれてはいたって息災の事と勝手に信じてこんでおります。さて、来年は久しぶりに同期会開催年となりますので再度、和やかで楽しいひとときをと考えておりますのでご参集のほど宜しくお願い申し上げます。ご希望等ありましたら各クラス幹事までご一報ください。（3部出身者の情報を求めています。新知見ありましたら3部クラス幹事佐藤みきお君までお知らせを！！）

（77回生学年幹事 長田光正）

<80 回生>

毎年元旦に新年会を行っています。今年は茅野駅東口「真砂」で開催されました。年々参加者は増えていますが女性の参加者がなく課題となっています。我々は現在61歳～62歳で、話題になるのは、再就職、再任用、年金がもらえるようになるまでどうやって食いつないだらいいのだ、また、孫が何人できた、などといったことです。参加者の中には、県会議員、町長、社長、CEO、専務、常務、などといった同期生も大勢いるので、ネットワークを広げる大きな機会でもあります。新たに参加を希望される方は幹事の高橋君（チロル）、阿部君（キッツ）、または学年幹事の大久保まで連絡してください。また、2月には元ジャパンディスプレイ社長で現在松本山雅FC取締役の有賀修二君の講演会が茅野で開催され、80回生をはじめ多くの清陵同窓生、山雅サポーターなどが訪れました。

昨年まではここに連絡用メールアドレスを書いていましたが、我々の世代もLINEの時代となりました。80回生のLINEグループがあります。Facebookもあります。子どもさんなどにやり方を聞いてぜひ加入してください。

最後に、80回生の会の名称をご紹介します。「ハ〇（ハレ）の会」です。発案者は諏訪市選出県会議員の宮下克彦君です。

（80回生学年幹事 大久保純男）

<84 回生>

毎年12月30日夜に上諏訪駅近辺で一杯飲む会を開催しております。松木君が主催してくれておりますのでぜひお出かけください。また、昨年度総会もご参加頂きありがとうございました。

（84回生学年幹事 矢崎宏明 spex6969@trad.ocn.ne.jp）

<86 回生>

昨年は当番幹事をさせていただき多くのみなさんに参加いただきました。本当に大変でしたが、多様性に満ちた86回生、先輩、後輩、清陵の仲間と出会い、互いを再発見することができました。改めて関わってくださった全ての方に感謝いたします。

現時点では次の同期会など大きな行事は未定ですが、あまり時をおかず企画し、みなさんとまた時間を共有したいと思います。希望があれば、林聡一までご連絡ください！

個人的には、その後も清陵同窓生と色々なところでお会いしており、新しい関係の中で新しいことをしていこうという動きが起きつつあります。これを書いているのは「緊急事態宣言」中ですが、こんな時だからこそ2030年、その先の諏訪と日本と世界と自分を見据えて、新しいチャレンジをしていきたい。そのために清陵の仲間の多様性を使わせていただきたいです。引き続きよろしく願ひいたします！

（86回生学年幹事 林聡一）

<87 回生>

いよいよ出番となりましたが、年明け以降異常事態中です。これまで87回生は、昨年3月東京清陵会メンバーによる東京清陵会『ミドル交流会』を企画、開催（スタッフおよび参加者10名）、10月東京清陵会総会は15名がスタッフとして参加。11月諏訪支部総会は裏方とパネルディスカッションを担当し、27名の方にご協力いただきました。また10月の上諏訪「すわっチャオ」での同期会は運悪く台風の中になってしまったものの、27名が駆けつけてくれました。こうして当番学年として盛り上がりながら、総会と会報発行の準備を諏訪在住者中心に東京方面メンバーにも手伝ってもらいながら進めてきましたが…この緊急事態には何とも対処しがたく、予定変更になりました。今後の87回生の動きの詳細は未定で、順次Facebook『諏訪清陵高校87回生』や、グループLINE『87回生』にアップしていきますので、のぞきにきてください。グループ未参加の方は味沢にショートメールください。

（87回生学年幹事 武居竜生・味澤敏行 090-1430-8705）

<88 回生>

2021年度の当番学年に向けて、各地で準備を始めています。

しかしながら新型コロナ感染拡大の余波を受け、2020年3月開催で準備万端と思っていた東京清陵会のイベントは延期となり、さらに「3密自粛」で少々焦りも感じています。

それでも、附属中1期生が高校卒業となった「無観客卒業式」では、生徒昇降口で有志によるアンケート配布を行い、現役清陵生の「今」「生の声」を集める試みを実施しました。

2020年7月の清陵祭・同窓会展示ではアンケート結果をまとめ、何らかの形で最新の状況・情報をご覧いただくよう、進めて参ります。

同窓会の当番学年まであと1年。コロナに負けず、仕事や家庭や地域やら、多忙な時間をやりくりしながら、多くの同期に声がけして、ごしたくても“ずく出して”知恵出して、数々の助言を得ながら準備して参ります。

88回生のみなさま、どうぞご協力をお願いいたします。

そして先輩後輩各位、たくさんのご指導ご助言をお願い申し上げます。

（88回生 両角真幸 moro3sss@pol14.lcv.ne.jp）

<91 回生>

我々の学年が、皆等しく「半世紀」を生き、卒業以来何もしていない学年幹事も、いよいよ「反省期」を迎えております。遅ればせながら、ぼつぼつ、何かをやりたいと思います。我々の清陵時代、こんなときによく使っていた「やるじゃ！」を合言葉に。

ご意見がありましたら、ご連絡下さい。このお知らせが、復活の狼煙になれば幸いです。

（91回生学年幹事 藤森完一 kanichifujimori@hotmail.com）

<92 回生>（九二会）

令和元年12月3日、東京清陵会九二会は、17名（うち女子5名）がカスケード銀座店に集い、恒例の忘年会を行いました。今年は区切りの50歳。130周年の当番幹事まであと5年ですね。体調に気をつけて、世の中が落ち着いたら、また、旧交を温めましょう。

尚、諏訪での九二会懇親会は、3月上旬に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため、延期になりました。幸いにも92回生の百瀬登先生は、今年も、清陵高にて教鞭を執られていますので、折をみて、清陵の近況を教えてください。

その際は、クラス幹事さんに、案内を回しますので、宜しくお願いします。

（92回生学年幹事 笠原健一）

金属熱処理の総合メーカー



代表取締役社長 高木克彦(81回生)
常務取締役 高木伸彦(87回生)



〒394-0091 長野県岡谷市10016番地471
エコ・ファクトリーパーク湯殿山-1
TEL(0266)75-8100 FAX(0266)75-8108



岡谷市民病院

岡谷市民病院は、「思いやり」を基本理念とし、心温まる患者サービスを提供し、地域の人々に信頼され親しまれる病院をめざします。

病院事業管理者 兼 病院長 天野直二

医師スタッフ募集

岡谷市本町四丁目11番33号 TEL 0266-23-8000

大森接骨院

〒393-0056

長野県諏訪郡下諏訪町広瀬町5382

電話 0266-28-6670



サスナカ通信工業 株式会社

代表取締役社長 宮坂昌樹(87回生)

本社 〒399-0033 松本市大字笹賀7600-6

TEL 0263-86-1520 FAX 0263-86-1456

営業所 / 長野・諏訪・飯田・塩尻・安曇野・甲府 URL: http://www.sasunaka.co.jp

「つなげる技術 進化し続ける集団」

清陵高校クラブ後援会（3者）会計報告（PTA・同窓会・学友会）

平成9年度にPTA・同窓会・学友会により結成された「清陵高校クラブ後援会」も発足以来23年を経過しました。同窓会からは会員各位のご理解を得るなか、この間、約6,140万円のご援助をいただいてまいりました。

令和元年度は、延べ150余りの大会に約1,500名の生徒が「清陵」の名を背負って参加し、頑張ってまいりました。運動部は、端艇部、陸上部、スキー部が全国大会へ出場し、特に端艇部、陸上部は優秀な成績を収めることができました。「文化部のインターハイ」と呼ばれる全国高等学校総合文化祭には、合唱部、書道部、かるた部、生物部、天文気象部が出場したほ

か、古典ギター部、物理部が各地の全国大会に出場するなど、栄誉ある成績を収めることができました。これらの成果が残せたのも同窓会の会員の皆様をはじめとする後援会の皆様のおかげであると、生徒及び関係者一同深く感謝しているところでございます。

令和2年度はコロナウイルス問題でクラブ活動に影響が出ていますが、各クラブとも前年以上の成績を収めるべく活動する予定ですので、引き続き絶大なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

（学校事務長 中島 信夫）

令和元年度クラブ活動後援会（3者）会計決算

収入総額	11,390,745 円
支出総額	9,569,720 円
差引残高	1,821,025 円

収入の部		(単位：円)	
科 目	予算額	収入済額	差引増減
繰 入 金	7,400,000	7,400,000	0
同 窓 会	2,403,000	2,403,000	0
P T A	3,956,000	3,956,000	0
学 友 会	1,041,000	1,041,000	0
県費等補助金	300,000	1,301,773	1,001,773
雑 収 入	48	20	△ 28
繰 越 金	2,688,952	2,688,952	0
合 計	10,389,000	11,390,745	1,001,745

支出の部		(単位：円)	
科 目	予算額	支出済額	差引増減
生徒遠征費	7,289,000	6,755,714	533,286
大会参加費	750,000	721,403	28,597
登 録 料	800,000	778,164	21,836
施設使用料	1,200,000	1,113,352	86,648
事 務 費	150,000	140,257	9,743
備品購入費	200,000	60,830	139,170
予 備 費	0	0	0
合 計	10,389,000	9,569,720	819,280

「清陵高校クラブ活動・自反会 同窓会後援会」ご協力をお願い

平素は同窓会活動にご支援を戴き誠にありがとうございます。「清陵高校クラブ活動同窓会後援会」は平成9年からお願いしており、クラブ・同好会の生徒が、母校を代表して各種大会へ出場する場合の遠征費や物品費の補助を目的に活動して参りました。更に平成28年度から、従来のクラブ・同好会への補助に加え、自反会（土曜日に補習授業、模試、進路指導、基礎学力確認テスト等）や課外学習の充実が急務との結論に至り、同窓会及びPTA・学友会・諏訪清陵会などが資金を拠出し、支援していくことになりました。

その為に、高校入学する生徒から納めて戴く同窓会入会金を、平成28年度から10,000円に増額をお願いし、終身会費（20,000円）と併せてお願いしております。【30,000円240名720万円】尚、昭和60年度（91回生）以前に入学された同窓生の方々からは、終身会費を納入して戴いておりません。

つきましては同窓会として「清陵高校クラブ活動・自反会・同窓会後援会」に進学校としての輝かしい伝統を未来につなげるべく、より多くの同窓生にご支援をお願いする次第です。

上記事項をご勘案いただき、平成28年度から引き続き、できましたら毎年、少なくとも従来通り5年に一回は、後援会費（10,000円）を納入して戴きますようご協力をお願い申し上げます。

ご送金方法

- 同封の「ゆうちょ銀行 払込取扱票」をお願い致します。振込手数料は本会の負担ですが、節約のため、可能な限り「ATM」をご利用願います。
- ご都合で5年分一括でない場合は、お手数ですが金額を訂正してお振り込み願います。



住宅、店舗等 建築デザイン・設計
新築・リフォーム・リノベーション

代表取締役 宮坂佐知子（87回生）

● SPACE 設計デザイン・トータルプロデュース
inn 有限会社 スペースイン

〒392-0007 諏訪市清水2-3-30 カマクラビルⅢ302
TEL.0266(57)2121 FAX.0266(57)2122
《URL》https://spaceinn.co.jp/《E-mail》spaceinn@agate.plala.or.jp



医療法人
高原医院
TAKAHARA CLINIC

整形外科・リハビリテーション科

院長 高原 健治（93回生）

上伊那郡南箕輪村5586番地2
0265-98-0385
http://www.takahara-clinic.jp

クラブ後援会会員芳名（敬称略）

以下の名簿は、平成31年4月1日～令和2年3月31日に、会費をお振込み頂いた方々です。ご協力ありがとうございました。

38回生 北原 文雄	52回生 金子 信也	鮎沢 茂登	遠藤 博万	守矢 早苗	花岡 正富	南保 勝美	小口 聖	111回生
40回生 矢崎 文彦	白川 太一	藤森 照夫	金井 修	矢澤 敬正	林 健康	堀内 正	野口 賢郎	小池ひかり
41回生 中村 繁之	茅野 實	松下 勲	小池 三造	矢萩 哲也	宮坂 伸	79回生 市瀬 章	小谷 祥子	武居 雅樹
松田 保人	藤森 克男	矢崎 豊国	高木 鐵也	芳沢 勝利	守屋 秀洋	岡 しおり	間部 拓二	武川 慎治
42回生 山田 保	両角庄二郎	山田 和彦	中村 好邦	吉澤 修平	73回生 伊藤 広行	原田 健	矢頭 智夫	114回生 小池 太輝
43回生 牛山 定雄	市川 兼三	60回生 池場 康友	長谷川文規	68回生 有賀 良夫	岡野 健	宮坂 恵子	90回生 伊藤 浩平	野口 彩夏
小泉 末也	河西 啓二	小川 浩史	牧 成治	牛山 和義	小池 将修	80回生 工藤 千秋	坂口 みほ	115回生 三浦まどか
44回生 伊藤 善光	北原 良郷	小口 一老	丸山 佳広	大槻 守	小松 大蔵	藤森 民雄	古村 雅利	120回生 中村 詩織
藤森 茂一	小池 寛	河西 善実	水野 俊彦	倉田 直道	野沢 敬一	矢島 茂人	西瀬 祥一	前田 優太
45回生 松岡 武文	小泉 幸雄	鎌倉 剛一	亙理美代子	小松 貢	本田 稔	81回生 野口 穂波	矢崎 宏明	武藤 和羽
小平 恭	小松 貞	菊池 敏一	山崎 恭平	小松 順一	松木 敏博	田村まゆみ	91回生 牛越 智彦	山田 和也
原藤 卓郎	小松 茂	久保田一夫	吉原 千文	花岡 粧好	宮坂 和生	田中 輝明	百瀬 賢志	122回生 足助 達紀
藤森 弘國	酒井 利男	小林 寛人	64回生 石原 千明	藤森 照信	山田 富康	82回生 大久保 隆	矢澤 哲也	高良 一徹
46回生 小川 善弘	武居 富夫	関 滋	伊東 勇美	69回生 青沼 水門	植松 孝彦	古屋 了	92回生 荒井 亮一	酒井 大輔
帯川 藤夫	土橋 平治	高木 正喜	武井 省吾	梅川 英男	大滝 精一	83回生 新澤みどり	今井 宗泰	田中 樹里
篠原 昭登	土橋平太郎	田中 拓二	垣内 直	権東 明	小口 哲男	上原 正道	高原由紀子	戸塚 晴喜
武井 厚隆	原 隆昭	永田 郷雄	小飼 隆文	比田井昌英	小口 寿彦	五味 弘昌	笠原 健一	
47回生 久保龍太郎	平塚 一実	野竹 虎夫	小林 宇夫	高山 猛英	久保田俊正	中村 美穂	清水 雅仁	
茅野 茂治	藤森 三男	原田 聖史	坂本 功	武井 憲治	五味 公守	松崎 任宏	菅沼 清	
原田 瑞夫	青木 瑞枝	増沢 豊久	武井 直人	津金 正典	高木 健治	84回生 井上 幸彦	新村 克英	
守屋 太門	堀川 尚武	宮坂 博巳	坂本 功	浜 寛	松本 哲郎	長尾 潤子	93回生 熊谷 信	
48回生 川窪 純光	松見 佳樹	高岡 正則	武井 真士	比田井和子	三井 常夫	西川 裕夫	北澤 裕子	
北原 治房	村山 忠義	宮澤 政文	長島 潔	宮坂 秀一	土橋 安康	小池 克典	小松 貴弘	
永由 利弘	望月 均	矢崎清太郎	新村 恩	宮坂 幸芳	徳嵩 昇一	85回生 長田 里美	辛 宣廣	
山岡 正邦	渡部 清	61回生 太田 龍朗	花岡 忠史	宮原 栄一	藤原 進一	立花 美香	96回生 五味 弘行	
49回生 牛山淳一郎	荻野 浩	小河原章博	宮沢 勇	矢澤 博	宮坂 和巳	石埜三千穂	田中 雄一	
久保田 貢	小林 浩	河西 康次	宮沢 玄治	吉江 春人	若林 孝	大久保淳一	河西 佳史	
小松 敏	五味 乙	川村 昌平	山田 巻義	芳沢 弘幸	70回生 加島 範久	小林 龍則	97回生 関 元博	
代田 繁夫	五味 敏雄	北原 隆	横井 昌隆	76回生 朝倉 義信	小林 金好	清水 俊樹	98回生 吉田 真也	
土田健次郎	竹田 守男	藤澤 玄雄	横内 稔	77回生 岡崎 芳次	洪谷 康海	辻 清隆	99回生 鈴木 歩	
宮坂 久臣	濱 有	飯田 玉樹	伊藤 速一	78回生 小澤 周介	春日 芳夫	永田 隆	花岡 洋成	
50回生 菊地 金光	樋口 祐三	酒井 建二	岩本 弘	岩波 力	田村 義明	林 幸代	守屋紀久子	
小松 横芳	溝口 幸二	進藤 彰夫	上原賢次郎	磯野 康子	原田 博文	樋代 章平	102回生 笠原 稔大	
舟岡 正男	宮阪 章三	土橋 勉	岡村 昭治	田畑加久司	藤森 行雄	味澤 敏行	小林真知子	
翠川 宏	宮澤 功吉	出羽 弘明	笠原 重治	古田 寛	71回生 伊藤 洋一	宮坂佐知子	103回生 中根 宏	
51回生 今井 好昭	和田 昭通	中村 隆一	春日 芳夫	横内 保美	今井 伸治	今井 一喜	106回生 沖村 美幸	
太田 信男	飯田 節夫	濱 宏純	小林 俊徳	吉池 正	岩波 達雄	平沢 春信	宮坂 有憲	
小泉 仲蔵	今井 正喜	平野 国政	五味 正明	72回生 新井 滋平	磯野 康子	藤森 伸也	108回生 高木 健至	
小平 拓	笠原 忠夫	堀川喜代太郎	竹村 友一	荒木 敬悦	田村 義明	宮沢 隆志	109回生 小池 慎	
小松 契伴	上條 衛	宮澤 三郎	名取 武一	白鳥 洋治	横内 保美	三輪 真司	今井 里美	
島立 明幸	小林 英雄	高見澤忠明	原 英充	小口 和文	金子 恵子	矢崎 裕夫	吉田 貴子	
進藤 八郎	菅沼 伸梧	矢島 穆	細田 正昭	熊崎 秀和	樋口 尚宏	矢島 仁視	110回生 関 優里香	
花岡 英彌	関 純一	62回生 奥水 俊治	渡辺 厚	小林 隆夫	堀田 康之	伊東みゆき		
林 将雄	寺島 亮三	斎藤 信男	植松 武敏	中根 領	牧内 敬英	竹中 優之		
平島 佐一	堀田 裕人	田中 明雄	蒲地 重明	中村 博	水戸川博明	矢嶋 浩行		
堀内 昭八	59回生 飯田 力也	田中 幹三	河合 三彦	67回生 河西 正道	足立 孝幸	大野 美江		
三輪 祐司	今井 潔	中島 澄雄	北原 東一	高橋 尚	岩波 正恭	岩波 和英		
	小川 勝嗣	中村 利文	小澤 智己		釜洞 修一			
	小尾口 満	永由 俊二	小平 正八		倉島 利文			
	小松 守	浜 武秀	田中 吉保					
	清水 真幸	宮坂 博通	徳永 昭輝					
	白倉 徹哉	宮澤 生行	藤森 英和					
	城取 俊昭	吉田 貢	降幡 賢一					
		今井 洋一	渡辺 剛志					